
グループ遊雅 リプレイ

グループ遊雅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

グループ遊雅 リプレイ

【Nコード】

N0953M

【作者名】

グループ遊雅

【あらすじ】

沖縄で活動中のTRPG・アナログゲームサークル、「グループ遊雅」で行われたTRPGのリプレイです。

興味のある方は下記のHPに訪れてみてください。

<http://yugagares.net/>

SW2・0リプレイ? 『行方不明の聖戦士』(前書き)

最初におことわり

「グループ遊雅で行われる事になったこのキャンペーンは面子固定ではありません。パーティー・バランスの観点から、途中参加の方にもこれまでのセッションを通じて得た経験点、報酬、名誉点などを補填します。」

SW2・0リプレイ? 『行方不明の聖戦士』

冒険者紹介

軽戦士ハル（ナイトメア、男、?歳）フェンサー3、スカウト2、エンハンサー1、ライダー1

自ら先制を取って真つ先に乱戦に突っ込む戦闘の切り込み隊長。リルドラケンを家族に持つ。

捜査官アレクセイ・サンドライト（人間、男、16歳）プリースト（ライフオス）3、スカウト1、フェンサー1、セージ1

過去に盗賊ギルドへ潜入捜査を行った経歴から、プリースト技能所持者でありながらフェンサー&スカウトを持つという異色のライフオス信者。神の声は聞こえるが空気は読めない。

舞闘家サガ・クルサード（人間、男、15歳）グラップラー3、アルケミスト2

拳・蹴り・投げといったグラップラーの多彩な戦闘方法に尻尾での範囲攻撃を加えて、より乱戦エリアで活躍できるようにした万能戦闘キアラ。必要に応じて符術で攻撃の爆発力も底上げするカード使いの格闘家。

軽い戦士マケドニア（人間、男、31歳）フェンサー3、スカウト3
何やらシリアスな設定がありそうな刀好きの軽戦士。薄い防御もなんのその。合言葉は「避ければいい」

殺人機ヒューズ（ルーンフォーク、男、起動期間9年）ソーサラー3、セージ2

生まれて日が浅い(?)と言張る人造人間。空きのあるCPUに文

明社会のデータを蓄積している最中らしい。ソーサラーとは思えない行動をし、言動がたまにおかしくなる。

神殿の事業仕分け

GM それでは始めましょう。GMひろやがお贈りするSW2・0キャンペーン・セッション。君達はザルツ地方ルキスラ帝国から南へ4〜5日ほど行った所にあるレイソルという町にいる

サガ 自由都市同盟まで来てる？

GM ルキスラ国内から出てはいない。ちなみにザルツ地方にはルキスラ帝国以外に、北へ行くと“橋の国”ダーレスブルグ公国、西へ行くと“花の国”フェンデル王国、北西へ行くと“彩りの港”ロシレッタ、南へ行くと自由都市同盟。全部で五つの国家群が存在する

ハル その町で自分達は何をしているの？

GM まず、ライフオス神殿での予算削減に関する内輪もめが今回の依頼の発端になる

アレク 私の宗派と同じじゃないか！。内輪もめとは放っておけない

ハル まず「ライフオス」ってどんな神なの？

GM 世界で最初に生まれたとされる神で始祖神と呼ばれていて、蛮族との戦いに積極的

アレク 蛮族許すまじ！、断固殲滅！！

GM そのライフオス神殿には「^{パラディン}聖戦士」とよばれる存在がいて、ザルツ地方から東南方向、テラスティア大陸の東側に位置するダグニア地方から、ルキスラのライフオス神殿へ来るはずだったんだけど、1年経っても音沙汰がない。そこで神殿の経理関係者は「次年度からの予算を削減しましょう」これに対して神官部門が「聖戦士様が御到着されるのに席を用意していないとは何事！、そんな予算削減案など認められるかつ！」

アレク ……うん、こーいう揉め事は正直関わりたくないなあ…

ハル 信者でしょ？

マケドニア ……出世に関わるからだろ（ボソツと）

アレク し、失礼なっ！、神に仕える、こ、この私が、しゅ、出世など…（尻すぼみ）

GM はいはい、依頼内容の説明を進めよう。このライフオス神殿の内輪もめに仲介という形で入ったのが我らが冒険者の宿「銀の弾丸亭」の主人、黒人でスキンヘッドでサングラスで強面のおっさん通称「ボス」

ハル 今度はライフオス神殿にコネクションを作ろうというワケね

GM そう。この銀の弾丸亭はマジテック協会の直営店。魔術師ギルド、盗賊ギルド、王宮政府、ライダーギルド、商工会議所…、様々な所とコネクションを結んで運営を行っているらしい

アレク そんな事して何になるの？

マケドニア コネの重要性も知らんとは…、子供（プッ）

サガ まあ、コネの重要性は置いといて、具体的な依頼内容はなんですか？

GM 行商人達が「それらしい人を見た」といつてるので、その事実確認。

ハル その「それらしい人を見た」をもうちょっと具体的に

GM 容姿や話す言葉の訛りとかかな。アメリカ人の中にドイツ人がいるみたいな感じ。日本人には捕え難い感覚かも知れないけど。その聖戦士の名は「J・ドノヴァン」

ヒューズ じゃあ、情報の確度としては「噂話」と思っているわけですね？

GM そう。だからわざわざルキスラから4～5日かけて冒険者出さずに付近にいる君らに白羽の矢が立ったというわけ

ハル 報酬は？

GM 「妖精の武器化半額券（1枚）」と「マギテック協会による魔法の品鑑定無料券（1枚）」

ハル なに、この「肩叩き券」的な報酬は（笑）

ヒューズ 噂話を確かめて来い、なら妥当じゃないですか？

サガ ただ、妖精の武器化半額に関しては実質1,500→6,000ガメルに換算できるので、決して低すぎる報酬とは個人的には思えませんね

ハル それは「妖精の武器にする」っていう限定じゃあ…、まあ、いいけど。

ヒューズ ここでグズグズしてても始まらないんで進みましょうか
マケドニア いい事言うねえ、さっさと行こう。サクサクとシナリ才進めよう（笑）

GM では昼過ぎに町レイソルに到着。町人は君らを見ると…、
「うおっ、冒険者か!？」
「こんなに早く!!」
「都合良すぎないか!？」
「化物を、化物を退治してもらうんだ!」

化物騒動

ハル …何の事？

GM 君らが疑問符を頭上に出してる段階で、若いの二人が町の中央に向って走り出す

ハル&マケドニア（同時に）追いかけよう!!

（GMの愚痴）

この二人ってさあ、両方ともフェンサー&スカウトのキャラなんだよ。つまり、キャラが被ってる。そーなるとキャラ立てでロール

プレイしない限りは「クリティカルした者勝ち」になっちまうから止めとけて言ったハズなんだけど…。

ハル いきなり逃げるとはどういう見？

GM（町人） 町長にお伝えするんだー

ハル 何を？

GM（町人） 冒険者が来た事をだー

ハル 要領を得ないぞ、オイッ！

マケドニア まあまあ、武装した我々が来て警戒もするだろう。こは身近な話題から切り出そうじゃないか。「この町で一番の美人はドコにいる？」

一同 そりゃ、お前えの趣味だろーっ！！

GM（町人） それだったら、治療師の女の人だー

一同 GMも悪乗りすんじゃないやねーよっ！

マケドニア じゃ、俺は情報収集を兼ねて、その美人のトコへ…

ヒューズ 顔は正面を向いて、真横にマケドニアの首根っこを捕まえよう。ガシッ！！

「旦那あ、女はしばらく待ちましょーや」

マケドニア 首根っこ掴まれてアウアウ（タジタジ）…

GM 町人に話を聞こうとすると、我関せずといった態度を取る人と、逆に「あの女は化物だったのよっ！」と噂話好きそうなオバちゃんとか反応は様々

サガ 噂話好きそうなオバちゃんから聞きますか

GM そこで、町の奥から40代後半くらいの男性がやってきて「冒険者の方々、レイソルへようこそ。何かのお仕事での来訪でしょうか？。こちらからもお願いしたい事がありますので、どうぞ私の家までご足労下さい」あつ、ちなみにこの人、この町の町長さんね
アレク お願い事とは何ですか？

GM 「立ち話も何ですから、どうぞこちらへ」と自分の家へ案内する

マケドニア じゃあ、茶でも飲みながら話聞こうぜ

GM では町長の家。他と比べると若干広めだけど取り立てて裕福という感じじゃない。「貴方方はどういった用件でこの町へやって来たのですか？」

サガ 「カクカクシカジカ」で話していい？

ハル …正直に話していいの？

アレク …まだよく分からない。化物の話とかもちゃんと聞いてないし

GM（警戒しすぎじゃねーの？）

ハル 「人捜しです」（ 無難な答え）

アレク 「化物がどうかという話を聞いたのですが、それは一体？」

GM 「はい。この町に4〜5年前に住み着いた女性治療師の方がいるのですが、その方を化物だという者が現われまして…。それが一人や二人ではないのです」

マケドニア ピキン！。町一番の美人さんだな、確か！

ハル 化物って具体的にどんな感じ？

GM 「化物」としか伝わってない。容姿形容は特にならない

サガ どれだけの人が化物だと言ってるんですか？

GM 5人だね。一人二人ならまだしも、この人数だと人々も聞き流せない感じ。でもこの町には治療師にお世話になった人も沢山いるから「まさかあゝ」という反応と、嫉妬半分で「やっぱりあの女は化物なのよっ！」という態度を取る人もいる

マケドニア その治療師の名前は？

GM えーっと…、キャメロンだね

ハル 化物だって言ってる5人は特定できる？

GM 町の郊外で牧畜してるポール、ピエール、マイケルの三兄弟

と雑貨屋を経営してるターナー夫妻

ヒューズ ちょっと待て、皆。自分達の仕事を優先させないか？

ハル 行方不明の聖戦士捜しても戦闘なりそうにないからなあ…、化物だと戦えると思ったんだけど（苦笑）

アレク 「この町に聖戦士のドノヴァン卿はいらっしゃいますか？」

GM（唐突やな）「？、貴族の方かは存じませんがドノヴァンさんならこの町に居ますよ」

ハル どこに？

GM 「今、噂になってる女性治療師の方と同棲されてます」

一同 「なあにいいー！？」

聖戦士？、J・ドノヴァン

冒険者一行は噂話を確認する班と、直接、ドノヴァン&治療師キヤメロンの家に向う二手に分かれる。

GM では女性治療師とドノヴァンの所から始めよう

アレク 自分とマケドニアで訪問します

マケドニア 俺が腹痛（仮病）とかで治療してもらおう

GM 扉が少しだけ開いて「…誰だ？、何用？」と男性が対応する。

顔だけ出してて、かなり警戒してる

アレク　しまった！、武装解除くらいすべきだった！

マケドニア　平気平気、俺ら冒険者だし。「すいませーん、お腹壊しちゃったみたいなんでお薬貰えませんかねー？」

GM　プリーストが《キュア・ポイズン》すりゃ、腹痛くらい治ると思うぞ

マケドニア　「コイツ（アレクのこと）ってまだ《キュア・ポイズン》使えないんですよー」

アレク　失礼なっ！、3レベルの私は《キュア・ポイズン》使えるぞ！

マケドニア　まあまあ、場の空気読んで。「ってコトで失礼します」

GM　簡単に家の中には入れてくれないね。「…そこでしばらくお待ちを」と言つて一端、扉を閉める。中で何やら話し声がして「どうぞ、お入り下さい」と今度は女性が笑顔で迎え入れてくれる

マケドニア　この人が治療師のキャメロンさんかあゝ

アレク　この人が例の化物騒動の…。初対面の女性にいきなり《サーチ・バルバロス》かけるのなあ…。この魔法って相手にバレちゃうし

GM（かけても無駄だよ、アレでは相手を特定できないからね）

マケドニアは治療師キャメロンから薬を処方される間、二人の馴れ初めなどを聞き出す。このあたりの情報収集はさすがスカウトといったところかな。

マケドニア 「じゃあ、ドノヴァンさんは大怪我されてこの町に流れついたんですね？」

ドノヴァン 「いかにも。ただ、私には過去の記憶がないので、貴方方の言う聖戦士かどうかは分かりません」

アレク 「何っ！、記憶喪失！？。同じライフオス信者だから、自分の聖印見せてみよう。「何か思い出しませんか？」

ドノヴァン 「…すまない、何も、思い出せない…」

アレク 「流れ着いた時に身に付けていた物とかありませんか？」

GM 鎧の一部（手甲や脚当て）と、名前が刻まれたペンダントがあつたそうだ

アレク 軍隊の認識章みたいなものかな？。「それに聖戦士かどうかは書かれていませんでしたか？」

GM 「J・ドノヴァン」と名前だけ

アレク 「ドノヴァンさん、すみません。貴方が神官かどうかを魔法で調べたいのですが、よろしいですか？」

GM（ソレも計算済み。かけても無駄だよ）

マケドニア なにすんの？

アレク 《ディティクト・フェイス》で相手のプリースト技能と信仰してる神を調べる

マケドニア そんな便利なものが（笑）

GM じゃあ、分かったよ。プリースト（ライフオス）6レベル

アレク ビンゴだっ！。「ドノヴァンさん、貴方が私達の捜していた聖戦士殿です！」

GM ドノヴァンは首を傾げてる。「…そう言われても、私には記憶が…」今の段階で判明している事は、名前が一緒にこの人がプリースト技能、それもライフオスを信仰してるって事だけ。捜してる聖戦士ドノヴァンかはどうかは確定していない

アレク 限りなく「黒」でしょ？

ハル あれは？、あの訛りがどうとかいうやつ

GM ああ、そうだね。確かに地方語（ザルツ語）ではなく別の訛りがある

ハル どの？

GM その地方語（ダグニア語）を君らは知らないから分からないアレク セージ技能で判定していいですか？

GM それなら分かるね。ダグニア地方の訛りだと判明する

名前、所持技能、信仰、出身地（らしき）訛り。それらが一致しても「本人」と断定するには至らない。

アレク …うゝん、確証がないから連れては行けないかなあゝ？

GM そりゃ、そうだろう（苦笑）。状況証拠だけで「たぶん、この人です」って神殿に報告する気かい？

アレク ライフオス信者として、そんな曖昧な報告はできない（泣）

マケドニア 大体の事は分かった。ここは引き上げよう。「ありがとうございました」。また寄ってもいいですかー？

GM 「何か御用がありましたら、いつでも」と治療師キャメロンは笑顔で対応する。では続いて噂話を確かめるグループの話をしようか

ハル 郊外の牧畜三兄弟から行こう

GM では長男のポール（19歳）が柵ごしに野外で対応する。「あの夜に見たんだよ、あの女は化物に変わったんだ」

ハル 具体的にその化物とは？

GM 「身体がデカくなった」

ハル これだけの情報で魔物識別ってできる？

GM できない事はないけど、目標値が高くなるよ

ハル 「あの夜」っていつ？

GM 三日前だそうさ

サガ 弟二人も目撃したのかな？

GM そうらしいよ。「夜に三人で覗きに行ったらまたまた見えた」

ハル 覗きに行ったの？

GM 「あれはいい女だからな」

マケドニア 同感（うんうん）

ハル 外野は引っ込んでろ（苦笑）。弟から話聞ける？

GM 「町に行ってるからここにはいねえ」

ハル ここは三兄弟で牧畜やってるの？

GM 「そうさ。俺たち三兄弟でやってるんだ」

ハル 親は？

GM 「流行病で二人共コロッと逝っちまった」

ハル 何年前？

GM 「6年くらい前かなあー」

ハル 女治療師がこの町に来たのが4〜5年前だから、何か関係するかな…？

GM（深読みしすぎだ）ライダー技能があるハルには家畜の世話が雑になつてるのが分かる。本来なら毎日干草を替えなきゃいけないのに、数日間ほったらかしの状態

ハル 仕事しなよ

アレク 噂話立てるのに必死で本業が疎かになつてるとか（苦笑）

ヒューズ 私は一人で雑貨屋へ行こう

GM 閉まつてるね

ヒューズ 時間が遅かったかな？

GM いや、昼過ぎだけど店は開いてない

ヒューズ おや？、近所の人に聞いてみようか。「こちらの雑貨屋は閉まつているようですが…」

GM 「ああ、ターナーさんの店は2日前から閉めてるね。奥さんの具合が悪いらしいよ」

ヒューズ おや？、噂話を広めてる人にターナー夫人も入っていたんじゃないかった？

GM そうだよ。牧畜三兄弟にターナー夫妻の計5人

アレク こっちも本業が疎かになってるのか（苦笑）

ヒューズ そんなワケあるか。《アンロック》で開けて入る事はできるが、私では直接戦闘能力は無いわ、調査能力は無いわ、どうしようもない。ここは一端引き下がるう

町長の用意してくれた宿泊所で冒険者達は情報交換。

マケドニア ドノヴァンは約1年ほど前にこの町に半死半生で運び込まれたらしい。出身地と思しき訛り、実際にプリースト技能、それもライフォスを信仰してる。名前も一緒。「1年前」ってのも一致してるから、本人と考えていいと思う

ハル 記憶がなくなった原因は？

マケドニア それは流石に分からないよ（苦笑）。怪我の後遺症か、あるいは…

ハル あるいは？

マケドニア なんだろう（笑）？

サガ 記憶消去に関する魔法なら、妖精魔法11レベル《フォーゲット》と操霊魔法14レベル《ステイル・メモリー》がありますよ

GM カード使いの格闘家が高レベルの魔法知識を有してはイカン（笑）

サガ プレイヤー発言でお願いします

ハル そんな高レベルの魔法使いと戦うワケ？

GM（んなワケあるかい）

サガ 《フォーゲット》の持続時間が7日なので無理があります。
《ステイル・メモリー》に関しても、奪う記憶と同じ時間だけ呪文を行使しなければならないので、これもやはり無理ですね

アレク セージ技能の見識判定で何か分かりますか？

GM いいよ。見識判定で分かる事は、魔動機文明のお話でこういうものがある。あるルーンフォークが人間の主に仕えていたんだけど、主人が現代でいうアルツハイマーみたいな症状になって自分の事を忘れてしまった。そこで昔のように自分を愛してほしいと思つたルーンフォークは主人に対して「記憶書換えの杖」と呼ばれる魔法の品で昔の記憶を植え付けた。というおとぎ話を思い出した。

ハル 敵がこの記憶書換えの杖を持つてる可能性がある、と？

GM 似たような話で「忘却のワンド」とか「記憶操作の水晶」ともある

マケドニア そっちの噂話はどうだったんだ？

ハル 牧畜家三兄弟の長男から話が聞けたよ。三日前の夜に目撃したらしくて、身体のデカい何かに変身したらしい。

マケドニア それだけ？

ハル これだけ（あっさり）

ヒューズ 私の雑貨屋への情報収集は店舗閉鎖の為、断念

マケドニア なんだ、噂話組は不発っばいな（苦笑）

聖戦士の聖印

化物騒動から三日。無駄に時間を過ごしたくない冒険者は夜半に治療師キャメロンの家を監視（張り込み）を決行する。

マケドニア キャメロンちゃん、待っててね

GM ただの覗きじゃねーか（笑）

ヒューズ 私は不在なら家捜しするつもりだが？

GM お前のはただの空き巣だ（笑）

ハル 自分たちも酒場で情報収集してみよう。昼間とは違った情報が入るかも

GM ではマケドニアとヒューズの張り込み組。カーテンが引いてあつて中は見えない。明かりはついている

マケドニア ぐふふ、キャメロンちゃん

ハル ヒューズ、アンタがその暴走魔を止めるよ

アレク キャメロンさんにはドノヴァンさんがいるじゃないか（苦笑）

マケドニア 大丈夫。人妻も嫌いじゃない。それに「不倫は文化だ」（笑）

GM しばらくすると明かりが消える

マケドニア ちょっと、近寄ってみようかな

GM …と、マケドニアが腰を上げた瞬間、人が一人通れるくらいに静かに扉が開く。そこからドノヴァンが出てくる

マケドニア ドノヴァンが？。あら？、アクションあるならキャメロンの方だと思ったんだけど…？

ヒューズ 旦那あ、どうします？

マケドニア ドノヴァンはどこへ向ってる？

GM 町の中央だね

ハル ウチらと鉢合わせするかな？

マケドニア …町へ行くと判断して、ドノヴァンは向こうに任せ…、いや待て、連中と会うとは限らないからなあ。しょうがない、俺がドノヴァンを尾行しよう。「ヒューズ、後は任せたぞ」

ヒューズ 「了解だ。マケドーの旦那」

マケドニアはドノヴァンに気付かれずに尾行する。その行く先には酒場での情報収集組が聞き込みをしている。

ハル あの三兄弟とターナー夫妻の評判を聞いてみよう

GM 幼くして両親を亡くして、周りの手助けを受けながら兄弟で牧畜家業で生計を立ててる。これといった悪評はなし。ターナー夫妻に関しても取り立てて悪く言う人はいない

ハル 何で、化物だなんて噂話を立てるんだろう？

GM だから、見たからだって言ってるじゃないか（苦笑）

ハル プレイヤー的に治療師が白だったのは想像が付く。ただ、それと自分らの依頼の聖戦士ドノヴァンと噂話が結び付かない

GM（ふふ〜ん）さて、マケドニアが尾行していたドノヴァンは酒場に入るなり、「キヤメロンが化物だと言ってるのはどいつだっ！」「と大声で叫ぶ。周りの町人は目を反らして我関せずといった反応

ハル ちょっと様子見しよう

ドノヴァン（マケドニアのプレイヤー）「お前かっ!？」

町人A（ヒューズのプレイヤー）「お、おれじゃねえよ」

ドノヴァン（マケドニアのプレイヤー）「じゃあ、誰だ!?!。知ってるなら吐けっ!?!」

町人A（ヒューズのプレイヤー）「な、なにも知らねえよ…」と言いつつ、冒険者達をちらりと見てみる（笑）

一同 「なに、キラーパスしとんじゃー!!」

GM 冒険者…、そうか、アレクはドノヴァンと面識があつたな（笑）「昼間に家に来た神官の方だな。噂話の事はすでに耳に入っているとと思うが、その出所を知りたい」

アレク ヤバい。宗派的に嘘はつけない

ハル 「それを聞いてどうするつもりですか？」

GM 「問い質しに行く」

ハル 「今の貴方だと問い質すだけでは終わらないような気がしますけど？」

GM 「それは君が判断する事ではない（きつぱり）」

アレク この竹を割ったような性格はまさにライフオス信者だ（笑）

ハル 暴力が起ころうとしてる現場をみすみす見逃せない

ヒューズ 戦闘の切込み隊長のハルが言っても全然、説得力が無い（笑）

マケドニア 世界中に銃を売りながら世界平和を叫ぶアメ 力みた
いだな

ハル アンタら、どっちの味方やねん（苦笑）

マケドニア 話が面白くなればそれでいいのサ！。ビシッ！！（親指立ててポーズ）

ヒューズ 以下同文サ！。ビシッ！！（親指立ててポーズ）

GM さて、勝手にNPCを演じたヒューズよ（笑）。場面を君の所に移すが何か行動するかい？

ヒューズ マケドーの旦那がいないと自分では何も出来ないからなあ…。いくら暗視があるからってただ見てるだけってのも芸が無いし…。ちよつと、近付いてみよう

GM 近付いてみたが、特に家屋に変化はない

ヒューズ ゆっくり家屋を一周してみよう。何かあるなら正面より背後だからな

マケドニア そうそう。「後ろめたい」って表現するからな

GM では暗視のあるヒューズには家屋の裏手にある草花の異変を発見できた。一部が変色した花が咲いている

ヒューズ 花の色が違つと何か問題でも？

GM この一部の土の成分が酸性からアルカリ性になつたと思つて。それで花の色素変換が起こつたと思われる。…ラクシアの世界観でここまで現実的な説明はオカシイけどね

ヒューズ 掘り起こ…、ダメだ。家人に聞こえてしまう

GM なんかやってる事はホントにコソ泥だな。お前、本当にソーサラーかよ（苦笑）

ヒューズ ドノヴァン氏は外出中だったな。キャメロン女医は寝ているのだろうか…？

GM それでは聞き耳判定をしてみよう

ヒューズ それはやはりスカウト技能ですな（レンジャーでも可）。…どうでしょう、GM。ここはセージの構造解析判定で家屋の建築様式から音の反響を想定して、最も音の響くポイントに聴覚センサーを当てて聞き耳判定にボーナスを得るとするのは…？

GM ダメに決まってるやん（苦笑）

しかし、ヒューズはここで奇跡の六ゾロ（大笑）。

ハル なんだ、このルーンフォーク（笑）

ヒューズ この出目だと、キャメロン女医の心拍数まで把握できますな

GM（んなワケあるかい）では魔法文明語で何やら呪文を唱える声が聞こえた

ヒューズ キャメロン女医が魔法？。何の魔法ですか？

GM 君の使う真語魔法ではないね。…でも同じ言語だから分かっていいかな。操霊魔法だね

ヒューズ 何の呪文かまで分かりますか？

GM 教えてもいいかな。《デイスガイズ》だね

ヒューズ 誰かに変身しているって事かな？。もう一人ドノヴァンが出てくるとか？

GM いや、出てきたのはキャメロンその人。相当焦ってるみたいで、戸締りもしないで一目散に町の中央へ駆けて行く

ハル ちよつと、確認。キャメロンさんが出て来たわけね？

GM そうだよ。《デイスガイズ》で誰かに変身したかも知れないけど、出て来たのはキャメロン

一同 「……？」

ヒューズ まあ、いい。《アンロック》使えるから鍵開けの心配はなかったんだけど。開いてるなら入ろう（迷わず）

ここでの探索判定もスカウト技能のないヒューズでは何も見つけれない。頼りにしていた《センス・マジック》も隠された品物まで見つけれられる便利な呪文じゃない。（実は探索判定に成功すると「忘却のワンド」が発見できた）。

GM さて、酒場で一悶着してる面子。治療師キャメロンがやって来てドノヴァンを止める。「やめて！、あなたが騒ぐ必要はないの

よ」それに対してドノヴァンは最初こそ抵抗してたけど、キャメロンの哀願に怒りを納める。「すまない、君の名誉を守りたかったんだ」その眼差しには愛情が溢れている

マケドニア らぶらぶやなー

ハル うーん、こーいうシーンがあるとよく分からない。敵は誰？、キャメロンって怪しいの？、怪しくないの？

アレク この二人が相思相愛って事は分かった

ハル だ・か・ら！。分からないって言ってたんだよっ！。記憶喪失の聖戦士に化物の噂を立てられた女治療師？。敵は？、倒すべきモンスターはどこにいる？

アレク 本当に戦闘の事しか考えていませんね（苦笑）

ハル その為の軽戦士です（きっぱり）

アレク フェンサーって皆こんな感じなの？

サガ 違うでしょ（苦笑）

マケドニア そうか。ドノヴァン尾行して酒場に来たらキャメロンも来たのか。「あつ、キャメロンちゃん、一緒に飲もうよお」

サガ ほら、同じフェンサーでも大違いですよ

ヒューズ ある意味では軽戦士。“軽い”戦士（笑）

その後、ヒューズはドノヴァン&キャメロンが戻ってくる前に地

面を掘り起こし埋蔵物を取り出す。出て来た物はドノヴァンの所持品と思しき鎧の一部（手甲や脚当て）と普通とは様式の違う聖印を見つける。

ヒューズ 私のセージ知識でこれがライフオス神殿の聖戦士の聖印だと分かりますか？

GM 分かるだろうね。これは間違いなく聖戦士特有の聖印だ。「J・ドノヴァン」と記名もある

アレク ソーサラーには何の価値もない（発動体にならないという意味らしい）

マケドニア そんな事はない。こーいうのは裏で取引すれば結構な金になる（笑）

GM 神殿の一級身分証明みたいなもんやからねえ。確かに高値で売れるだろうね

アレク 売りませんっ！。ダメですっ！！

マケドニア まあ、これで聖戦士ドノヴァンは確定したでいいかな？

ヒューズ そうなると、記憶喪失が気になりますな。恐らく女治療師が魔法の品を使ってドノヴァンの記憶を削除あるいは改ざんした、その理由は一体何なのか？。それに関わる「化物騒動」との関連性は何か…？

アレク これは治療師を問い質した方がいいのかなあ？

ヒューズ 「のりくらり」とかわされるだけの様な気がする

マケドニア 当のドノヴァン本人が擁護するだろうからなあ

ハル もう一回ちゃんと話を聞きに行こう。牧畜三兄弟の弟達と雑貨屋夫妻からは話し聞けてないんだし

こうして、化物騒動から三日目の夜が過ぎて四日目の朝を迎える。

狙われる町

冒険者達はやはり二手に分かれて再度、情報収集に向う。

ヒューズ 今度はマケドーの旦那と雑貨屋へ行こう

ハル 残る三人で牧畜三兄弟のトコに行こうか

GM では町郊外の牧畜農場に来たけど、人がいる様子はない。牧畜の様子もやはりほったらかしだね

ハル 家屋まで行こう

GM 両脇を柵で囲まれた先を進んで玄関手前まで来るんだけど…、玄関奥から血の匂いがする

ハル 警戒しながら入ろう

サガ ハルさんだとスパアで手狭になりそうだから、素手の自分が先行しましょうか？

ハル アンタだと「危険感知」できないでしょ？

アレク 迷ってるなら私が突入しよう！。ドアを蹴破って「大丈夫かつ、三兄弟たちっ！」

ハル＆サガ ……………

GM（チームワークねえなあ）家屋に入ると床や壁が血だらけ。死体は無い

ハル アンデッドにして持つて行ったとか？。他の部屋も見てみよう

GM 他にも兄弟の寝室で同様に血の海状態。やはり死体は無い。状況からみて三兄弟が殺害されたと思われる

ハル 血の状態から見て実際に殺されたのはどのくらい前かな？

GM 2〜3日前くらいだな、と判断できる

アレク 噂話が出始めた頃だな

ハル 別人に成り代わってた？。∴ GM、「死体を食う」「人に化ける」で魔物識別できますか？

GM いいよ。判定に成功するとレッサーオーガの特殊能力「人化」が分かる。食べた人間の姿に化ける事ができるそうだ

サガ ∴ と、いう事は雑貨屋のターナー夫妻もレッサーオーガに食われたと見たほうがいいのかな？

アレク 普通に考えたらそうだろう

ハル ただ、問題は人間に化けたレッサーオーガが、何で治療師を「バケモノ」と噂を立てた？

アレク 正体を見破られたとか？

ハル どうやって？

アレク コンジャラーみたいだから、魔法でどうにかしたんじゃない？

ハル それなら、何で治療師は噂を立ててる連中がレッサーオーガだって事を言わない？

アレク それもそうだね

サガ 分からない事だらけですね

アレク 私もスカウト技能持ちなんで、何か手掛かりになるものがないか、もうちょっと搜索してみよう

雑貨屋に向った二人も同様に室内が血の海状態を発見する。ターナー夫妻は殺害されたものと断定して即行動を開始する。この二人は決断が早い。

ヒューズ 向こうと合流しつつ犯人搜しだ

アレク 殺害現場にスカウトがいたなら、もう少し現場検証しても

良かったのでは…？

マケドニア レッサーオーガが犯人で、町人に化けてるって分かった時点（こちらはヒューズが魔物識別で成功）で行動しないと手遅れになる

アレク 手遅れとは？

ヒューズ まず考えられるのは犯人であるレッサーオーガが自分の正体を冒険者に知られ、1・町を出る、2・別の町人に化け直す、といった事が上げられる

マケドニア そう。だからここでは家捜しで時間かけちゃいけない。犯人に見られないとも限らない

GM（いい判断だ）では向こう三人と合流しようと町を歩いているわけだけど…。君らの中で直接会ってるのはハルとサガが三兄弟の長男ポールだけだな。まあ、いいか、聞き込みしながら歩いてたら町人が教えてくれた事にしよう。「ああ、あの人がターナーさんですよ」

マケドニア 捕縛するか…。失敗して逃げられたら厄介だな。魔法で何とかできないか？

ヒューズ 《スリープ》で眠らせるか、《パラライズ》で動きを鈍くさせるか。ただ、「レッサーオーガ 4レベル 精神抵抗値13」私の魔力だとダイス出目9以上。分が悪い

マケドニア 仕方ない。尾行してチャンスを待とう

GM では雑貨店主ターナーが建物の間から裏路地へ入ったと思った次の瞬間には別の若い男が出て来る

ヒューズ マケドーの旦那、行動する？

マケドニア いや、待て。町人に「ちょっと、聞きたいんだけど。あの若い男って牧畜三兄弟の誰かじゃない？」

GM 「ああ、そうだよ。次男のピエール君だ」

マケドニア ビンゴだな。尾行を続けよう

GM (さすがスカウト) ピエールは町人に噂話を聞かせまわってる「本当だつて、俺は見たんだから」

と、そこへ向こうからハル、サガ、アレクの姿が見える。ピエールは君らに気付いた様子はない

ハル ピエールには会ってないから知らないしなあ……。マケドニアとヒューズは見えるの？

GM 尾行してるから見えないんじゃないかな？。君らが背後から来たなら丸見えだっただろうけど(苦笑)

マケドニア この状況ってレッサーオーガを挟み撃ちにしてるから出てしまっても平気かな？。五人で囲んでしまえば逃げられないだろう

ハル 乱戦状態にするわけ？

マケドニア 逃げられて別人に変身されたら捜しように無い。ここ

で確実に捕縛しておきたい

ハル 殺しちゃダメなのね？

マケドニア 当たり前じゃないか（笑）！。何も分かってない状況なんだから

ハル 確認の為に聞いただけ。本気で殺す気は、まだない

アレク 目の前にレッサーオーガが化けた三兄弟の次男坊がいるんだな、よしっ！「もしもし、町人よ。あそこで立ち話をしている男性は誰かね？」「はい、あれは牧畜三兄弟のピエールです」「なにっ！？、ピエールだとっ！！」

サーチ・バルバロス
ここで特殊神聖魔法！！「汝は蛮族なり！！」

マケドニア 何をしてくれてんだーっ！？

ハル 空気読め空気ーっ！！

GM（アホやコイツ）

実際には《サーチ・バルバロス》で対象の特定まではできないけど、そんな事はレッサーオーガには分からない。いきなり「汝は蛮族なり！！」と神官に叫ばれたらトンスラこくのが当然。

逃げられたらヤバいからって慎重に尾行して、仲間と挟み撃ち状態にまで持って行ったのに…。

ヒューズ まだ、大丈夫だ、マケドーの旦那。GM、戦闘に入ると判断して先制判定してもいいかな？

GM（あ、そうか。先制取りやまだ逃げられねえか）こっちの先制値は13なんで、そっちは期待値以上で先制取れるな

ハル　じゃあ、こっちが先制取りました！

サガ　自分が投げて転倒させましょう。素早く懐に入って一本背負いっ！

GM　では「スポン」と綺麗に投げが決まって転倒。押さえ込んで武器を向けると即座に降参の合図をする

ハル　縛り上げて話を聞こうか

マケドニア　ここだと人目があるから、裏路地にも行こう

GM　レッサーオーガは「取引しよう」と持ちかけて来る

ハル　取引の内容は？

GM　「この町が襲われる事になってる。俺はその斥候。情報を教えるから見逃してくれ」

ハル　その情報を先に言え

GM　「喋って殺されちゃかなわない。先に縄を外してくれ」

ハル　いいだろう。まだ、自分らで囲んでるよね？

GM　「こう囲まれちゃ逃げる時に逃げられない。道を開けてくれ」

ハル コイツ…（イライラ）

マケドニア 「要求は交互にだ。道を開けて欲しければ情報を提供しろ」

GM（うまいね）「この町を襲おうとしてるのはグールメイジだ」

アレク 蛮族がアンデッドと手を組んだのかっ！

ハル いや、珍しくないし、そんなこと。何でグールメイジはこの町を狙ってるのかな？

GM こつからはGMから教えよう。まず、このグールメイジは過去には数十体というグールを引き連れて、一つの町を壊滅させた事もある。この町を襲う理由は単に人間を食べる為。グールは腐肉を食べるけど、グールメイジは新鮮な肉を好む

サガ ルールブックにも書いてありますね

GM そう。でもさすがに軍隊とか冒険者の連合パーティーとかの討伐隊によって追い詰められて、今はグールが3体だけになった。それからというものの、かなり慎重になったわけ。ある時、レッサーオーガと手を組む事にした。斥候として町や村を偵察させて、五日連絡がないとその町は襲わない手筈になってるらしい

ハル 今で何日目？

GM 今日で4日目

ヒューズ 敵戦力はどのくらいかな？

G M グールメイジ1体、グール3体、レッサーオーガがもう1体
いるらしい

サガ 倒せない敵ではないですね。むしろボス戦らしい敵配置

アレク これは見逃してしまえば、この町は襲われないって事でいいのかな？

G M そうだけど、それだとミッション失敗と見なすよ？

アレク なんで？

G M（お前え、本当にライフオス信者か？）見逃すって事はこの町が救われるから一見、戦闘を回避してミッション達成っぽいけど、そこにあると分かっている脅威を見逃して別の村なり町が襲われる事になる。これは成功とは言えないでしょ？

サガ 明らかに倒せないって敵わけでもないですしね

G M そのとおり

ヒューズ …それで、コイツ（レッサーオーガ）の処分はどうするんだ？

アレク 神官として約束を反故にするというのちょっと…

ハル 「逃げてみる」

G M あれ？、逃がすの？

ハル 敏捷度24で追いかける（笑）！

ヒューズ つまらん。さっさと殺してしまえ。逃げるヤツに向つて
《リップ・スラッシュ》。（コロコロ…）3回クリティカルしてダ
メージ32点

GM（なんつー恐ろしいダメージを…）投げの分もあるから瞬殺だね

ヒューズ 見たかつ！、偉大なる真語魔法の力っ！！。

…頭を吹き飛ばされて首から噴水の如く血を撒き散らしながら、頭
部を失った胴体だけが、よろよると動く…。吹き上がる血を見なが
ら満足そうに笑みを浮かべよう（ニヤリ）

サガ 演出ですね

GM（お前え、本当にソーサラーかよ）

ただねえ、ここは町中で、レッサーオーガはピエールに人化した
状態だったのよ？。

GM その一部始終を見ていた町人が「ぎゃああああー、冒険者が
ピエールを殺したーっ！！」「た、助けてくれーっ！」

ヒューズ 「…ちっ、人間どもが…」

一同 「お前はどっち側なんだっ！？」

ヒューズ 私の味方でない者はすべて敵だ（笑）

ハル アンタこそア リカやないかい（苦笑）

マケドニア そのうち、ヒューズと戦う事になるかも知れん…

ヒューズ 冗談だよ、冗談（笑）。レッサーオーガは死んだら元の蛮族の姿に戻るだろう、きっと（うんうん）。それよりも町の危機を町長に知らせよう

アレク 「町長殿っ！、この町が蛮族に襲われようとしておりますぞ！。我々、冒険者の出番ですっ！！」

マケドニア とりあえず、依頼として受け付けようぜ

GM そうやって町長宅へ飛び込んだ君らだが、その場にドノヴァンと治療師キャンロンの姿がある

ハル なぜに？

GM 化物騒動の鎮静化を直接、町長に願いに来たらしい。でも君らの発言を聞いて「蛮族がこの町を狙っている！？、それは本当かつ！！」とドノヴァンがいきり立つ。それを心配そうにキヤメロンが見上げる

マケドニア おっ、戦力が増えるか？

アレク 6レベルのプリーストですからな。聖戦士だから同じくらいにファイター技能もあるはず

町長は緊急依頼という事で一人1,000Gの報酬で蛮族退治を冒険者達に依頼する。それに同行しようとするドノヴァン。当然、

戦力増強を喜ぶ冒険者達だが、キヤメロンが頑として反対する。

GM 「止めて、危ない事はしないでっ！」「大丈夫さ、キヤメロン。冒険者の方々も一緒なんだから」「駄目、絶対に駄目！」

ハル 「この町が襲われようとしてる時に戦える人を戦いの場に行かせないのは結局、この町を危険に晒す事にはなりませんか？」

GM 愛する人の身を案じるのは当然だろう。「あなた達は本職でしょう？。専門の方に任せるのが最良の選択だと思いますわ」

ハル 「その専門職の我々がドノヴァンさんの協力を必要としているのです」

GM 「彼は貴方方の協力者である前に、私の患者です。彼の治療は一年をもつても完治していません。その彼に無理はさせられません」

マケドニア こーくると巻き返しは無理か？

ヒューズ まあ、普通考えて自分達より強いNPCがラスボスに同行する事自体、有り得ない選択肢だからなあ…

GM ドノヴァンは同行したい様子だけど、キヤメロンの必死の哀願に折れる。「…お願い、貴方を失っては私は生きていけない…」涙を流すキヤメロンを支えつつ、「…分かったよ、キヤメロン。家に帰ろう」

マケドニア ま、自分らで何とかするか。正面から向っても勝てない敵ではないようだし

GM 帰ろうとするドノヴァンとキヤメロンだけど、ドノヴァンはアイコンタクトで町長宅の棚に飾られてるブランデーのボトルを目配せする

アレク 今から飲むんですか（笑）？

マケドニア これはドノヴァンが（酒場で落ち合おう）と合図したと見ていいのかな？

GM そうだろうね

ヒューズ ……………（何か気になってる様子）

さて、すべての謎が解決したわけではない状態で、なし崩し的にラスボス戦へ突入する冒険者達。

果たして、物語の結末や如何に…？。

穢れた魂

ハル 敵は町から離れた場所に潜伏してるから、そこを不意打ちで襲撃しよう！。ちなみに町長に言って馬は確保した！。これでライダー技能が無駄にならなくて済む（笑）

GM では夕方くらいに目的地に到着。キャラバン隊みたいな馬車があって、遠目にグールが3体うつっているのが見える

ハル アンデッドのくせに馬車使ってるの？

サガ グールメイジは人間と同じ生活水準を望むらしいですよ

ハル まあいいや。ホースに騎乗して騎芸チャージが可能な距離まで近付こう

ヒューズ さて、相手がどれくらい警戒しているか、だな

アレク 五日連絡がないと、町は襲わないと言っていたからもう移動するつもりなのかな？

マケドニア いや、連絡がない事で斥候のレッサーオーガが何者かに殺られたと考えるかも

サガ このパーティーって金属鎧着たキャラ（NPCドノヴァン含む）はいないんですが、騎乗したキャラがいるので隠密行動は難しいのではないのでしょうか？

ハル とりあえず、30mまで近付いてみて様子をみよう

GM では相手側から目立った反応はない

アレク おや？、不意打ちできそうですね

ハル じゃあ、槍を脇に構えてチャージしよう！「突撃ーっ！」

GM 騎乗したハルがチャージした途端にグール達の動きが代わる。完全に迎え撃つ態勢を取る。馬車の中からは人間の女性が出て来て即座にレッサーオーガに変身。グールメイジも出てきてその肩へ使い魔らしきカラスが降りて来る

マケドニア しまったっ！、使い魔かつー！。こっちの行動は完全にバレてるな

ハル それでも先制はこっちが取ったので先に行動はできる！

GM 戦闘入る前にちよつと説明。グールメイジが懐から銀製の短剣を取り出す。刀身には魔法文字らしき紋章が描かれている。セージ技能で判定すると分かるけど、これは「穢れの短剣」といって、強制的に穢れを注入して蛮族を強化するというもの

ハル 銀製っ！、ヤバい！！

GM それを前にいるレッサーオーガへ刺す。「ドスッ！！」

一同 「?????」

GM 刺された所から魔法文字が短剣から身体へ流れるように移って、胸の中央で魔法陣のように描かれる。「オオオオオー！！」と雄叫びを上げると、レッサーオーガが強化される。具体的には命中力と打撃点に+1

アレク …うゝん、敵の力を底上げされてる…

GM（この短剣はこの為だけに出したんじゃないんだよ）

軽戦士ハルの騎乗突撃で幕を開けた戦闘は乱戦の極みを見せていた。

グールメイジの反撃は味方を巻き込んだの《ライトニング》。電光が乱戦の中を突き進んで行った先には回復役である神官アレクの姿があった。

真正面からまともに電光を受けたアレクは後方へ吹き飛ばす。その

電光の貫通に巻き込まれたのがグール2体と、騎獣から降りたハル。

「…万物ノ根源タル、万能ナルマナヨ。安ラカナ眠リヲモタラセ
…」

続けてグールメイジは《スリープ》をハルに発動させる。受けたチャージのダメージから強敵と判断しての選択だった。優れた回避能力をもつても魔法まで回避できるわけではない。

睡魔により倒れたハルにグールの両爪が殺到する。敏捷性を生かす戦い方をする軽戦士にとってはグールの麻痺毒は通常以上に致命傷になりかねない。

「ハルさんっ！、危ないっ！！」

マテリアル・カードを抜き出した武闘家サガは流れるような動作で符術で尻尾を造り出す。そのまま氷上の舞踏フィギア・スケートの「トリプルアクセル」のような舞いで次々とグールを蹴散らしていく。戦士系でありながら、範囲攻撃を可能にする彼の格闘流派“極龍神拳”の技の一つ尻尾連撃。

「態勢を立て直せっ！、ドノヴァン、突出するなっ！！」

倒れたハルをかばいながら声を張り上げるのはもう一人の軽戦士マケドニア。

この奇襲作戦へ急遽参加した記憶喪失の聖戦士ドノヴァンに声を掛けたのは、乱戦を掻き分けながらグールメイジへ接敵しようとする彼の無茶な行動を戒める為だった。

ドノヴァンにすれば、ただ自分の住む町を守りたい為の行動だったのだが。

そんなマケドニア即席指揮を無視するかのように神聖魔法を発動させる空気の読めない神官の声が響く。

「我が神ライフオスよ。善なる力で辺りを満たしたまえっ！」

電光を受けた神官アレクは場の状況を改善させようと《バニッシュ》の呪文を発動させる。これでグール3体が逃げ出したのは良かったのだが、「穢れの短剣」により強化されたレッサーオーガが凶暴化したのでは状況を良くしたとはとても言えない。

事実、倒れたハルと、それを助け起こそうとするマケドニア両名の所へ凶暴化したレッサーオーガは迫っていた。

「…チツ、余計な事しやがって」

マケドニアは舌打ちをしながらも抱きかかえていたハルをゆつくりと降ろし、抜いていた刀身を鞘へ収める。わずかに腰を落とした姿勢のまま正面を見据え、精神を安定させる。

「…刃の女神よ、我に力を…。…四の太刀“拔刀”！！」

迫り来るレッサーオーガを居合いの一振りで胴体を見事に一刀両断する。たたらを踏んだレッサーオーガは自らが切られた事も知らずに上半身だけが振り返り、数瞬をおいて胴体が二分される。

（…コンナハズデハナイ…）

この状況に焦りを覚えたのはグールメイジ。引き連れていたグールは3体とも逃亡し、穢れ強化したレッサーオーガも瞬殺されてしまった。

ただ、この場にいるすべての者に対して、計算外な事が起ころうとしていた。

GM 後方からキャメロンが血相を代えてやって来る。そして「止めてドノヴァン！、貴方は戦っては駄目っ！！。これ以上、死んでは駄目ーっ！！」

ハル これ以上…？

サガ 死んではダメ…？

GM そのキャメロンの言葉に振り返って、隙が出来たドノヴァンの脇腹にグールメイジが持っていた「穢れの短剣」を突き刺す

アレク アレは蛮族を強化するものだから何も問題はない（楽観視）

マケドニア … そーじゃないだろう…

ヒューズ GMはこう説明したぞ「強制的に穢れを注入する」

GM 穢れの短剣を刺されたドノヴァンは肌が屍蠟のようになり、声はしわがれ、うつすらと瘴気をまとう。急速にレブナント化していくのが分かる。グールメイジも何が起こっているのかは分かってない。

完全にレブナント化したドノヴァンは強い怨念を抱き、憎悪に歪んだ表情でキヤメロンに向って叫ぶ。

「この化物めっ！、お前は俺を生き返らせたなっ！！」

越える想い

聖戦士として国を出たドノヴァンは半死半生の深手を負い、町に流れ着いて来ました。

その彼を治療したのが治療師キヤメロンです。実はキヤメロンはラミアであり、キヤメロンの元に運ばれた段階でドノヴァンは死亡していました。

キヤメロンはそれを操^{リザレクション}霊魔法で蘇生させました。

ラミアであるキヤメロンは人間の血を吸わなければ餓死してしまう事も厭わずに、ドノヴァンの看病に明け暮れます。

そしてついに、キヤメロンの正体がドノヴァンに知られてしまいます。変化が解け、本来のラミアの姿になり、生き血を吸えない事で弱っていたキヤメロンに対して、ドノヴァンの取った行動は自らの袖を巻くつて腕を差し出す事でした。

「…さあ、私の血を吸え」

キヤメロンの献身的な看護を受け続けたドノヴァンには種族の垣

根を越えた愛が芽生え育っていたのでしよう。

こうして二人の生活は始まりました。

破局はキャメロンの不注意から起こりました。キャメロンはすっかりドノヴァンが一度死んで、自分が生き返らせたと喋ってしまっただです。

一般人でないドノヴァンですが、彼の故郷ダグニア地方セフィリア神聖王国では穢れを否定している事から、一切の生き返りを認めていません。

自らの魂が穢れた事を知ったドノヴァンは苦悩し、自らを追い詰め、追い詰め、追い詰めた結果、自ら命を絶ってしまいます。

これでは生き返らせても同じ事の繰り返し。そこでキャメロンが使ったのが「忘却のワンド」と呼ばれる魔法の品です。これでドノヴァンの記憶を消してしまいます。

一年後。そんな二人の住む町にレッサーオーガが潜伏します。まず郊外に住む牧畜家三兄弟を殺害し、そこにやって来た雑貨店経営の男性、さらにはその妻を殺害します。

このレッサーオーガはグールメイジと手を組んでおり、その偵察尖兵として動いています。そこには「人肉を喰らう」という共通の目的があるからです。

そしてレッサーオーガはキャメロンに狙いをつけますが、ラミアであるキャメロンに勝てるはずもなく、退散し、町中で「あの女は化物だ！」と吹聴していたわけです。

GM 月明かりを浴びたキャメロンは「…ウツ！」と呻くと、両腕を抱えるようにして身悶えする。それからゆっくりと変化が解けて、下半身が巨大な大蛇の姿になる

サガ ラミアの変化は一日18時間。それが切れたのですね

ヒューズ なるほど！。あの《デイスガイズ》はその為に人間のキヤメロンに魔法で変装したのか

GM レブナント・ドノヴァンは脇腹に刺さった穢れの短剣を引き抜いて持ち替え、ラミア・キヤメロンに向う。君らとグールメイジは眼中にない

ハル 確認したい。キヤメロンは蛮族だけど、敵じゃないでいいんだよね？

サガ データを見ても「反応：中立」とありますね

GM 人族に対して敵対的なラミアではないようだね

マケドニア キヤメロンを庇う態勢に入ろう

ヒューズ しかし、6レベルの神官戦士がレブナント化した敵が。モンスターレベル7と見ていいわけだな

サガ 魔法は使えなくなるので、ファイター技能だけが脅威ですね

GM（実はドノヴァンはプリースト6、ファイター5だけどね）

アレク ラスボスが替わった！

ハル 替わってない。グールメイジ逃がしたら、たぶんミッション失敗

GM そのグールメイジは乱戦エリアから離脱しようとしてる

ハル グールメイジを先に殺つてしまおう

サガ 貴方はその方がいいですよ。レブナント・ドノヴァンは銀製武器ですから（苦笑）

逃走を試みるグールメイジを背後から躊躇なく刺し殺した軽戦士ハルは、次の目標をレブナント化した元・聖戦士ドノヴァンに定めていた。

死霊と化した元・聖戦士は生前の戦闘特技「全力攻撃」を用いて穢れの短剣の威力を増大させている。しかし、あの大ぶりの攻撃手段では回避が疎かになる。その隙を突いてハルは脇腹の傷口を狙つての一撃必殺を狙う。

しかし、熟練の戦士としての腕前と勘を取り戻したレブナント・ドノヴァンは隙を突こうとするハルの動きを牽制に入る。穢れの短剣を構えた相手にそのまま飛び込めば、ナイトメアの弱点である銀属性に加えて「穢れ」まで貰ってしまう。

「…厄介な相手だね…」

槍を構え直しながら、攻撃に移れない事を愚痴る。

穢れを警戒して踏み込めないのはハルだけではなかった。もう一人の軽戦士マケドニアも穢れの短剣による急速なレブナント化を目の当たりにして間合いを詰める事ができない。

肉体の損傷を再生させる能力を持つレブナント相手に、長期戦に持ち込めば不利になるのは明白。だからこそ、攻撃の爆発力を誇るフェンサーの一撃が期待される所だが、一撃必殺に賭けるには敵の攻撃があまりに凶悪すぎた。

「マケドーの旦那。ここは任せろ」

レブナント・ドノヴァンを取り囲む輪から無防備に一步踏み出したのは魔術師ヒューズ。彼には接近戦を行う技術などない。

「……………っ！、止めろっ！！」

マケドニアの忠告も一瞬遅く、攻撃範囲に無作為に入って来たヒューズに対して穢れの短剣が深々と突き刺さる。

ルーンフォークの外皮装甲と内部骨格を砕く音が響き、冷却剤も兼ねる体内環境液が辺りに飛び散る。

そのまま倒れるかと思いきや、穢れの短剣が刺さったままドノヴァンの腕を両手で掴んだヒューズは叫ぶ。

「私に“穢れ”は発生しない！。皆、やれっ！！」

魔動機文明時代に造り出された人造人間ルーンフォークは穢れを受ける事はない。身を削つての強攻手段だった。

すかさずハルとマケドニアの軽戦士コンビの一撃が飛ぶ。しかし、この二人をもつてしてもドノヴァンを倒すまでには至らない。

「皆さんっ！、前を開けて下さいっ！！」

半歩のステップから飛び出したサガは上段蹴りに続いて身体を回転させ、そのまま裏拳を叩き込み、さらに身体を回転させて尻尾での三連撃をお見舞いする。

その華麗な舞のような連撃を受けてレプナント・ドノヴァンは動きを止める。石が土や砂となって崩れていくように、瘴気を帯びた肉体が崩れ落ちてゆく…。

「…ドノヴァン、逝かないで…」

嗚咽を漏らし崩れ落ちるキャメロンに対して、肉体の崩壊が始まりながらもドノヴァンは歩み寄る。到底、触れる距離まで辿り着く事は出来ないと分かっているのに、冒険者達はその場を動かない。

「……………」

魂が穢れ、レプナント化した者は生前の記憶はなくなって怨念に縛られるか、憶えていてもそれは歪んだ記憶として残っている。

「…キャメロン…」

そんなドノヴァンであつたが崩壊の最後の一瞬、強い怨念を抱き、憎悪に歪んだ瞳が、元の優しい彼に戻ったような気がした。

ドノヴァンのキャメロンへの、人族と蛮族の、宗教思想上の垣根

を越えた想いが“穢れ”をも打ち破ったのか。
それは誰にも分からなかった。

セッション終えて

久々のキャンペーン&リプレイ。今回のシナリオではかなりストーリー色の強い内容になった。…と言えば聞こえはいいけど、最後の最後までいかないと全容が見えないシナリオなんで、情報収集で色々と予想した人には不満の残るセッションだったのでは。

結局、プレイヤー達は「ドノヴァンは町を襲おうとしたグルメイジとの戦闘で死亡。その証拠として聖戦士の聖印をライフオス神殿に届ける」という判断を下した。もちろんミッションは失敗じゃないけど、交渉して別口で報酬を要求する手もあった。

考えられるのが、ライフオス神殿との交渉。「聖戦士が蛮族と恋仲になった挙句アンデッドになった。その口止め料を請求」これは止めた方がいい。自らの名誉を守らんとする狂信的なライフオス信者から攻撃（実際の戦闘だけでなく社会的抹殺など）を受けないとに限らない。

次に考えられるのが冒険者の宿“銀の弾丸亭”の親父さん。通称「ボス」はコネクション作りをしようとしてるので、ライフオス神殿と仲の悪くなるような事は当然したくない。でも冒険者達は神殿にとって不都合な情報を握っている。そこで冒険者達に対して「聖戦士の名誉を守る為に誰にも口外しないでくれ」と、説明している。かなりの口止め料が払われた可能性は高い。

面白いのがキアメロンと交渉するというもの。「貴女の愛したドノヴァンの名誉を傷つけない。そこで我々の記憶を買わないか？」と提案して、忘却のワンドで都合の悪い記憶を抜き取ってもらう。それでいくらかの金額を得る、というもの。ただ、これは「キアメロンが自分達との契約を守らないかも…？」とプレイヤーが考

えるかも知れないから実際にこの交渉をする人は少ないだろう。

終

SW2・0リプレイ? 『行方不明の聖戦士』(後書き)

次回以降、プレイヤーの入れ替わりが起こってパーティー・バランスも代わってくるだろう。面子によってはシナリオの傾向も調整しないといけない。

さて、「高レベルキャラにしよう!」で始まったこのSW2・0キャンペーン。次はどんなキャラがリプレイで活躍するのか?。

お楽しみに!。

SW2・0リプレイ?『腐敗のウェディング・ベル』（前書き）

冒険者紹介

“軽い”戦士マケドニア（人間、男、31歳）フェンサー4、スカウト3

軽い・薄い・脆いの三拍子揃った軽戦士。可愛い女の子なら種族を問わない懐が深過ぎる愛を持つ。

人造魔術師ヒューズ（ルーンフォーク、男、起動期間9年）ソーサラー4、セージ2

魔動機文明に造られた人造人間ながら、魔法文明に想いを馳せる真語魔術師。稀に非人道的発言が出る。

軽戦士ハル（ナイトメア、男、?歳）フェンサー4、スカウト2、エンハンサー1、ライダー1

基本的に戦闘メインの軽戦士。先手取って戦えればいいらしい。ライダーだけど騎獣には乗らない。

二丁拳銃エルガン（エルフ、男、92歳）マギテック3、シューター3、レンジャー1

両手に持った銃で敵を狙い撃つが、ペナルティーの為にまず当たらない。活性弾を渡され回復要員決定。

狙撃探偵ボロドー・イナオ（人間、男、25歳）スカウト5、シューター1、アルケミスト1

スカウト技能を生かしての諜報活動は抜群。ただ、知力7の割には素晴らしい推理力を見せる。

SW2・0リプレイ?『腐敗のウェディング・ベル』

新規参加者と成長報告

本キャンペーンは「目指せ!、高レベルキャラ!」と銘打っている、経験点は多めに渡しています。

前回(第一話:行方不明の聖戦士)では経験点2,000点(成長2回)・名誉点30点・報酬1,000Gを得ています。

マケドニア フェンサーを4レベルにして、能力値成長は2回とも筋力だった。これで筋力が18になったので、ボーナスが増える(笑)。

ヒューズ 私はソーサラーを3レベル 4レベル。生命力12 13、精神力15 16。使い魔は蛙にした

ハル 自分は器用度と精神力が上がったけど、ボーナス変わらず。技能はフェンサーを4にして、アウエイクンポーションを買った

エルガン 始めまして、二丁拳銃トゥーハンドのエルフの魔動機師のエルガンです。壁の薄いパーティーだと伺っていますが、自分のキャラはそれに拍車を駆ける“薄さ”です(苦笑)

GM(エルフのマギックは壁にはならんなあ…)

ボロドー・イナオ 名はボロドー。情報収集と狙撃を得意とするキャラクター。シナリオでキャラが変わる予定

ボロドーのプレイヤーの「複数のキャラで遊びたい」という提案

をGMが受け入れたので、彼だけセッション毎に3名の違うキャラを使えるようになってる。ちなみの残る2名はリルドラケンの戦士と人間の魔法使い。

…壁の薄いパーティーって知ってるんだからリルドラケンの方を使えよ…。

ボロドー いやあ、初参加のセッションではスカウト・キャラで、思惑たつぷりなGMのシナリオを堪能したかったんだよ（笑）

GM はいはい、頑張りますよ

エルガン しかし、スカウトが多いパーティーですね（苦笑）

ハル 自分はスカウト2

マケドニア こっちはスカウト3

ボロドー スカウト5レベル

GM コソ泥みたいなパーティーだな（笑）

ボロドー 失礼な、せめて「窃盗団」と呼んで

マケドニア コソ泥で思い出したけど、ヒューズはスカウト技能は取らなかったんだ？

ヒューズ もちろんだ、マケドーの旦那。深淵なる真語魔法の使い手に盗賊技能など不要っ！

ボロドー まあ、本職の自分らの仕事なんで。TRPGは分業でい

きましよう

花の国の婚活事情

GM さて、前回からのお三方（マケドニア、ヒューズ、ハル）はルキスラにある冒険者の宿「銀の弾丸亭」の主人、黒人でスキンヘッドでサングラスをかけてる強面のおっさん、通称「ボス」から依頼を受けて花の国フェンデイル王国にある姉妹店「花の弾丸亭」に来てる

ハル 依頼内容は？

GM その前にこのフェンデイル王国についていくつか説明をしよう。この国は魔法文明時代の遺跡が数多く残っていて、その流れを継承して独特の文化や芸術が発展している。遺跡と芸術、その他の歓楽で栄えていて、金持ちが観光に来る事もあるらしい

エルガン 魔法文明という事は、魔動機文明よりも更に前の文明ですよね？

GM そうだよ

ハル 花の国の由来は？

GM 巨大な遺跡群があつてそこには年中枯れる事のない花々が咲き誇っている。そこから付いた名前らしいね。あと、近くに「ジャーベル・ウォーキーの森」ってのがある

ヒューズ 緑豊かな国なんだな

GM だろうね。ちなみに郊外にルーンフォークの里が多数あるの
で、他国に比べてルーンフォーク人口が多いらしいよ

ヒューズ なるほど、この国だと兄弟達に会う事が多いんだな

GM ではさつそく「花の弾丸亭」へ。ここの主人は黒のスラック
スに黒のYシャツを胸元まで開けてて、常にシェイカーを振って
ルーンフォークのマスターです

マケドニア むっ、何かモテ男の匂いがする。こーいう店だとマス
ター目当ての女の子もきつというだろう。「あれ、どこかで会った
事ないかな？」

ハル 仕事前にナンパかよ

GM 「いいえ、会った事はないと思いますけど…？」

マケドニア 「思い出せないかなあ、会った事あるんだけど。……
前世で（キラリン）」

ハル 何してんの

ヒューズ マケドーの旦那、交尾は仕事が終わってからにしてくれ

マケドニア 交尾言うな

ボロドー まったくだ、オブライトにせめて子作りと言わないか

マケドニア 全然、包まれてない！

エルガン 依頼内容を聞きましょう（ 冷静）

GM 「融合神リルズの神殿へ行って話を聞いて欲しい」とシェイカーを振りながらマスターは話す

ハル 人と喋る時くらい振るのやめたら。そのリルズってどんな神なの？

GM 恋愛成就の小神でフェンデイルでは盛んな信仰。結婚式をリルズの神殿で挙げるのが流行りらしい

ヒューズ 報酬とかもその神殿から貰えるわけ？

GM いや、報酬は「花の弾丸亭」持ち。君らのレベルなら一人2,000ガメルくらいかな

マケドニア これは「冒険者の宿の評判を上げる為の仕事」だと思っ
ていいわけね？

GM 大きく間違っ
てはいないよ。ここフェンデイル王国ではリルズ神殿はそれなりの勢力を持つだろうからね。コネクションを強く
しておいて損はない

ハル じゃあ、リルズ神殿へ行こう

ボロドー ちょっと、確認。もしかして自分とエルガンはいない？

GM そうだよ、君らには別のアプローチがあるから待っておいで。

外野から口出しはしていないから

ボロドー&エルガン 了解です

GM ではリルズ神殿へ行くと、この時期だと花粉症に悩まされて
るのか司祭長がマスクをしながら応対してくれる「式を挙げるはず
の新郎が森へ行って帰って来ないので捜して来てください、ゴホゴ
ホ」

ハル 森ってさっき言ってたジャーベル・ウォーキーの森？

GM そうだね。「バースデー・ツリー誕生樹」なるものがあって、それで手作りのア
クセサリー類を新郎から新婦へプレゼントするってのがあるらしい

マケドニア へえ、そんな風習があるんだ

GM 「私はよく知らないのですけどね、ゴホゴホ」と司祭長は話す

ハル 若者の間で流行ってるのかな？

GM さあ、どうだろう。「私は赴任してきて4年目です。10数
年前に流行ったらしいですよ。詳しくは知りませんが、ゴホゴホ」

ヒューズ 森へ行った男性について聞けるかな

GM 名前はマイケル（40歳）、仕事は現場作業員

マケドニア 相手の女性は今どこに？

GM 司祭長は知らないそうだ

ヒューズ この男性をわざわざ司祭長が心配する理由でも何かあるのかな？

GM この男性は正直女性受けするタイプじゃない。ハッキリ言うともてない。それで恋愛成就の神でもあるリルズ神殿に定期的に参拝してただけど、その願いが叶ったのか結婚が決まった。それで「リルズ様、ありがとう！」的な感じで神殿に個人献金する事にした。その額がやや多めだから、神殿側としても放ってはおけない

ハル 多めの個人献金っていくら？

GM 700ガメル。君ら冒険者からみたら巨額ってわけではないけどね

ハル とりあえず、そのマイケルさんの家にも行ってみる？

ボロドー いや、先に冒険者の宿に行ってみてくれないか？

ハル なんて？

ボロドー 自分らと合流できるような気がする（笑）

GM なるほど（笑）。では、先にボロドーの方を進めよう。君はこのフェンディル王国の首都デイルクールで、そのスカウト技能を生かして探偵事務所みたいな事をやってる

ボロドー 「イナオ探偵事務所」と看板を掲げておこう

GM そこで来た仕事が「自分の弟の結婚相手の素性調査」

ボロドー ほほう。… マイケルさんとも繋がりそうな気配が（ニヤリ）

GM まあ、アタリやね。その弟さんの名前はジミー（17歳）。

暗くて眼鏡で色白のデブ、おまけに足が臭くて性格歪んだオタクです

マケドニア そんな男に結婚話が持ち上がったら親戚縁者は警戒するな（苦笑）

ボロドー で、何か持ち出されてたりはしましたか？

GM いいや。特にこれといった動きはない

ボロドー ジミーは仕事は何をしています？

GM 彼はニートです

ボロドー ……………（ 思案中）。女性の素性調査の進展具合は？

GM まず、相手の女性は君が調べただけで、5人の男性に結婚話を持ちかけてる。その中の一人にマイケルもいる。そして、少なくとも君と同レベルのスカウト技能を持つてると見ていい

ボロドー それはこういった判断でそう断定したのかな？

GM この5人に会う時にはまったくの別人に変装して会ってる。当然、名前もそれぞれ変えてる。マイケルの時にはキャサリン、ジミーの時にはレイチェル。一度、変装を見破れなかった時があったんだけど、彼女がどの女性に変装しても必ず身に付けてる手作りっ

ばい木製の腕輪を見つけたおかげで分かった

ボロドー 変装だけでスカウトと判断したわけ？。その変装は魔法じゃないんだね？

GM そうだよ、魔法による変装じゃない。ちなみに身のこなしからスカウトだと判断した

ボロドー 5レベル並みのスカウトに手作りの木製の腕輪……。彼女の目的は結婚詐欺と見ていいのかな？

GM それは分からないね。金銭が動いたわけではないし、騙された男性達から彼女に何かが渡った形跡もない

マケドニア 心は奪われたんだろう（しみじみ）

ハル そーいうのはどーでもいい

GM …と、いう報告書を依頼主にレポート提出した矢先。「やっぱ、裏があったかあ。しまったなあ、ウチの弟、昨日森へ行っちゃったんだ」

ボロドー 弟さんの搜索依頼をしますか？

GM 「いやあ、ニートだったからなあ。正直、あとは自己責任にしたいなあ。素性調査させたのはウチ（職人）の技術の流出を警戒したからであって、ジミーは正直どうでもいい」

ボロドー なるほど、こちらはこちらで仕事を受けるわけではない、と。これはGMが別メンバーと合流せよ、と言っていると判断。「ち

なみに森へ行かれた理由について心当たりはありませんか？」

GM 「10数年前かな？、樹をプレゼントするってのが流行ったんだよ」

ボロドー 「あなたも奥さんに贈ったのですか？」

GM 「まさかあゝ、おれはその時12のガキだぜ？。…ただ、それを遊びで女の子にプレゼントするのを大人に見られて叱られた記憶があるな」

ボロドー ほほう。その辺をもう少し詳しくお聞かせ願いませんか？

GM よく憶えてないらしいよ。「まあ、依頼した事は終わった。また何かあつたらお宅の事務所使わせてもらつよ」

エルガン 次は自分の番ですね

GM マギテックであるエルガンには一冊の記録簿を渡される。「ジャーベル・ウォーキーの森内にある魔術施設点検簿」と書かれている

エルガン …… なんですか、コレ？

GM 以前にジャーベル・ウォーキーの森の中で塔型の遺跡が魔動機師によって発見された。「これはもしか、大魔術師ジャーベル・ウォーキーの残した魔術研究施設か！？」と大騒ぎになったんだけど、どうやら違ったらしい

エルガン その遺跡を定期点検してるわけですね

GM そう。ただ、問題はここからで遺跡の所持権を持つマギテック協会に対して、魔術師ギルドが引渡しを要求してきた。以前にもマギスフィアを研究するとか言ってバラバラに分解した挙句に修復不能にした事がある。そんなトラブルがマギテック協会と魔術師ギルドには存在するので、簡単には引き渡したくない。そこで「まだ研究中。証拠はこの定期点検記録を見る」

ヒューズ 論理を説明しようというのは研究者としては当然の事だからなあ……。まあ、壊してしまうのはどうかと思うけど

エルガン 論理の確証など、物事は実証に足りればそれで済む

ボロドー 「理由はよう分からんけど、動いて使えればそれでいい」
って事だね

エルガン かなり雑な翻訳になりますが、まあそういう事です

GM ただね、この点検簿だけど、随分適当な感じがする。例えば点検簿にチェックされてる名前なんだけど「…この人ってダーレスブルグ公国から向こう側の大陸に渡ったはずじゃ…？」とか「こいつはクーデリア侯爵領で半年前から行方不明のはずじゃ…？」というのが目立つ

エルガン テキトー（笑）

ボロドー 外野から失礼。その適当ぶりはいつ頃からか分かりますか？

GM そうねえ、半年くらい前じゃないかな

エルガン　何か気になる事でも？

ボロドー　こういう緻密な情報の蓄積が重要なんですよ。GM的立場で言うところ「伏線」ですな

GM（よくお分かりで）

誕生樹はドロコ？

それぞれのキャラは冒険者の宿「花の弾丸亭」へ訪れる。

ハル　さて、自分らはジャーベル・ウォーキーの森へ入ればいいんだな

ヒューズ　広大な森の中を散策するには優秀なレンジャーなり、探し屋の道案内が必要ではないか？

ハル　スカウトでもできるでしょ？

GM　可能です

ハル　使い魔で上空から、……ってアンタの使い魔「カエル」かよつ
！！（ツッコミ）

ヒューズ 真語魔法で空を飛ぶ事はできても、水中は無理だから蛙にしたんだ。あと、ルーンフォークの精神力の低さをカバーしたつもり

エルガン まあ、とりあえず森に行きましょうか

マケドニア まず誕生樹の場所を特定しないと

ハル 誕生樹の事について聞いてまわろう

GM 誰も詳しくは知らないねえ

ハル あれ？

マケドニア 10数年前の事だから分かんねえのかな？

ヒューズ 宿のマスターに「兄弟よ、何か知らないか？」

GM 「私は起動して1年です。兄弟」

マケドニア 生まれてわずか1年のルーンフォークに冒険者の宿の主人が務まるのか？

ヒューズ きつとバーテンダー技能とかダウンロードして生まれたに違いない（笑）

ハル さて困った。場所が分からない

ボロドー 彼らが捜そうとしているマイケルを私は知っている。そ

して私が知っている情報を彼らは知らない。

「やあ、ここらでは見かけない冒険者だね、諸君。君らが捜そうとしているマイケル氏について面白い話があるんだが…?」

ハル 話を聞こう

ボロドー では結婚詐欺まがいの事について話そう

マケドニア 相手の女性はどこにいるのか分かる?

ボロドー そこん所はどうなってるのかな、私は彼女の所在を把握できてるでいいの?

GM 依頼主にレポート提出した後にねぐらにしてた場所に行ってみたらもぬけの殻

ボロドー …だそうです。彼女の所在は不明。マイケル氏の自宅に行ってみますか。何か手掛かりでもあれば幸い

エルガン 乗り遅れそうなので、自分も入っていきましょう（苦笑）
。「ジャーベル・ウォーキーの森へ行くんですが、一緒にできる冒険者パーティーとかいませんか?」

マケドニア じゃあ、自分らが名乗り出て彼を引き入れよう

GM マスターが君らを見てカウンターから弾丸の入ったケースをくれる「神官のいないパーティーでは何かと便利かと思われますよ」

エルガン 弾丸のケース?

GM これは「活性弾」といって、《ヒーリング・バレット》の威力を0 10にする事ができる

マケドニア おっ！、プリーストの《キュア・ウーンズ》並みになった（笑）

ボロドー そこは正直微妙ですよ

GM 同時に回復させられるわけじゃないからねえ

エルガン まあ、有り難く頂きます（笑）

ボロドーとヒューズがマイケル宅へ行き、情報収集を行う。

…盗賊の真似事はやめなのか、ヒューズ？

ヒューズ スカウト技能は真語魔法に何らプラスにならないので取らない。これから行う行動は事件の真相を解明しようという知的欲求であり、決して盗賊の真似事をしているつもりはない

ボロドー 自分は探索判定（コロコロ）、達成値15

GM では2d6×10ガメル見つけた

ボロドー （コロコロ）出目11。110Gゲット（笑）

マケドニア 盗むのか！？、ギルドとかヤバくないか？

ボロドー 大丈夫大丈夫、バレないバレない（笑）

ヒューズ それは私が盗賊ギルドに通報しないという前提かな？

ボロドー スカウト5レベルの自分が魔術師にバレるようなヘマな盗みはしない

GM まあ、そうだろうな。ヒューズの持ち物を盗むんなら危険感知判定させるけど、そうじゃないしねえ

ヒューズ 私も搜索などしてみよう

GM 別に隠してあったワケじゃないから見つかるよ。贈り物用のアクセサリーを見つけた

ヒューズ（黙って懷に仕舞う）

一同 おいつ！！

ヒューズ 盗んだワケじゃない。物的証拠として押収しただけ

GMそれと一緒に紙切れも出てきた。店の名前とそこで購入する物が書かれてる
ホンマかい

ボロドー 店の名前と購入する物は何？

GM 「 雑貨店」とかいう店で、購入する物は「簡易：北向きの針」「動物撃退スプレー」

ボロドー そこに行ってみよう

GM 行く先は特に怪しい場所じゃない。普通の商店街。出入りしてる人も一般人だったり、野伏がいたりする

ハル 「簡易：北向きの針」って何？

GM 分かりやすく言うと魔法のコンパスだね。常に北をさしてる

ハル 「動物撃退スプレー」は？

GM この世界^{ラクシア}って恐竜いるでしょ？。そのフェロモン液を使って動物を近寄れさせないようにする為の物

ヒューズ 森の中に入る必需品的な買い物ですな

ボロドー 店の主人に聞こう「これを買った人についてお聞きしたいのですが…」

GM 「森に入る人達が買っていくよ。動物撃退スプレーはよく売れるねえ、アンタらも1本どうだい？」

ボロドー 冒険者の我々には必要ないかな。ゲーム的にSW2・0は瞬殺の危険のあるワンダリング・モンスターは出ないはずだから

マケドニア メタ発言（苦笑）

ボロドー 我々が捜してる結婚詐欺の被害者は分からないのかな？

GM オタクっぽい連中が買いに来たとか話は聞けるね

ハル 人数は？

GM 5人、10人はいなかったんじゃないかなあ

ハル 森のどこに行つたかは分かる？

GM それは知らないね

エルガン まったくの素人がジャーベル・ウォーキーの森に単身で入ったとは考えにくい。雇われた冒険者とかいないか聞いてみよう

GM これと言つて情報はないねえ

ボロドー とりあえず森の入り口付近まで行こう。そこで聞き込みするなり、足跡追跡するなりして調べればいい

ジャーベル・ウォーキーの森へ

冒険者達はジャーベル・ウォーキーの森の外円部までやってくる。

ボロドー 森に出入りする人達からちよつと話聞いてみよう

GM それらしい人が数人、森に入つたと教えてくれる

ハル それは数人同時？

GM いや、別々だよ。森への小道があるからそこから入って行つ

たらしい

ボロドー ではそこから入って調べよう。足跡追跡（コロコロ）達成値15

マケドニア 野外だからレンジャー技能じゃないの？

GM 屋内だからスカウト、野外だからレンジャーっていう分け方じゃないよ。「レンジャー技能では屋外で行えません」とかの記述で判断する

ハル そーすると、同じテーブルBでもスカウトの方が有利だね

ボロドー そうとも言えませんか。レンジャーの「応急手当」や魔香草を用いてのMP回復などは冒険者にとって利便性は高いですよ
マケドニア そうか、スカウトでも足跡見つけられるなら俺も振ろう（コロコロ）10

ハル （コロコロ）11

エルガン 野外でレンジャーでも振れるから（コロコロ）9

ヒューズ ルーンフォークの視覚センサーを赤外線モードに切り替えて熱感知で足跡追跡（ウソ）

マケドニア そんな機能があるんか（笑）

ヒューズ 実際は一ゾロ狙いの平目振りだ、マケドーの旦那（コロコロ）3（笑）

マケドニア 「ヒューズ、その足跡は俺のだ」

GM 足跡追跡を全員でやると、それぞれが「この足跡だっ！」とか言い出すんだな（苦笑）

ボロドー 自分の達成値が一番高いから、それを主張しよう。「プロの追跡術を見せてやる。…ついて来い」

マケドニア 5レベルはプロだらうーなー

ヒューズ だらうーなー

GM では森の小道を曲がった所で、足跡は小道からそれて真っ直ぐに向かっている。森の中をかき分けて進んでいるようだ

ハル コンパスの通りに真っ直ぐに進んでるんだ

GM（北に向ってるわけじゃないけどね）ここからは枝が折れてたリするから比較的簡単に追跡できる

ボロドー 適度に休憩を挟んで、何かアクション（変化）がある所まで進む。当然、警戒は怠らない

GM（さすがプロ）では森の奥を進んだ所で、何やら唄が聞こえてくる。精神抵抗13で判定して

ボロドー 5レベルの私は当然、成功

マケドニア 出目良くて成功

ヒューズ、ハル、エルガン しっばい（泣）

GM では抵抗失敗した3名は演奏者の姿をどうしても見なくなってしまう

ヒューズ 呪歌かつ！？。…深淵なる真語魔法の使い手たるこの私がMP消費すらない「なんちゃって魔法」的な呪歌ふぜいに聞き入ってしまったとは…「うおー！、歌い手は誰だー！」（笑）

エルガン 「この素晴らしい歌声の主は一体…？」フラフラ（笑）

ハル 嫌だけど、自分も抵抗失敗したからなあ…。見に行ってしまうんだろうな

GM だろうじゃなくて行くんだよ（苦笑）。ちなみに君達が進んでた進行方向とは違う所に向ってる

マケドニア 呪歌の「キュアリオステイ」だろうけど、これなら敵意はないと見ていいのかな？

ボロドー いや、何か罠があるかも知れない。進行方向に先回りして歌い手を先に見つけてしまおう。相手見て敵と判断できるなら殺つてしまおう

GM セージ技能ない君ら二人で敵かどうかはどう判断するんだ？

ボロドー 雰囲気で（笑）

マケドニア 何となく（笑）

ボロドー 実際はアルケミスト技能で魔物識別はできる。ただ問題は基準値が低い。レベル＋能力値ボーナスで2しかない（笑）

GM では先回りして行くと、一匹のリスが呪歌を唄ってるのが見える

ボロドー 狙撃（即答）

マケドニア ちょ、ちょっと待て。相手は小動物だぜ！？

ボロドー モンスターに違いない（断言）

GM ∴なあ、アルケミスト技能で魔物識別できるんだから、とりあえずダイス振ろうや

ボロドー （コロコロ）達成値11

GM では幻獣のプーカだと分かった。反応は友好的

ボロドー 狙撃の構えを解こう。「…命拾いしたな」

プーカは動物に変身できる能力を持つ。魔物識別に失敗しても可愛いリスとかなら攻撃対象にはならないと思ったんだけど…。

ボロドー キャラ的に一匹狼みたいな感じで、基本的に誰も信用し

てない（笑）。だから唄うリスを見た瞬間「敵」マケドニア 敵対的じゃないんだろ？。茂みから出てプーカに挨拶でもするか

ボロドー そんな近くにいるわけじゃない。大体の魔法の射程が30mだから自分は最低でも31mまでしか近付かない。ちなみに私の射程は50mだ

GM（どんだけ警戒してんだよ）ではガサゴソ音がして呪歌に惹き込まれた三人がやってくる。演奏者のプーカを見ると、呪歌の効果は消える。そこでプーカは地方語で君らに話し掛ける。

「冒険者さんたち、お願いがあるの。聞いてくれる？」

プーカのお願い

ハル リスが喋った！（笑）

ヒューズ あれはプーカという幻の獣です

GM 幻獣と言え。幻の獣なんて言うത്、すごく希少価値のある動物みたいだ（苦笑）

マケドニア 「お願いって何かな？」

GM 森の動物たちの巣になってる樹木があるんだけど、そこに近寄れなくなってるらしい。それをどうにかしてくれという内容

ハル 冒険者でどうにかできる問題なの？

GM 人間がいるから動物たちは嫌がつてるみたい

ボロドー これはアレだな、動物撃退スプレーかけた連中がいるんだな

GM（御名答）

マケドニア という事はその樹木が誕生樹って事？

ボロドー 分らないけど、可能性は低くない。ただ、依頼として引き受けるならタダ働きは嫌

エルガン こちらも情報が入るから別にいいのでは？

GM それに関してはプーカが事前に報酬を提示してくる。「綺麗な石をあげるよー」以前にも何回か冒険者をお願い事をして、それを渡すと喜んでいたので今回もそれをあげるそうだな

ボロドー … 宝石の類いか？。まあ、いいだろう

GM ではプーカに先導されて森の中を進んで行って、ある場所で止められる。「この先にさっき言った樹木があるんだよ」

マケドニア どれどれ

GM 前のめりするマケドニアをプーカが止める。「ここから先に入っちゃダメ！」

ハル どういうこと？

ボロドー これはアレだな、何らかの魔法的な罠があるんだな

GM（さすが警戒心の強い男やな）そうだね、具体的に言つと30m手前で止まったと思つて

ボロドー ほらな、この距離だと魔法に達しない

ハル で、なんなの？

GM 君が見る先には一本の樹木があつて、その近くを川が流れてる。その樹木の根元に7名の人間男性がたむろしていて、それとは別に樹木の幹に寄り添うようにして全裸の肢体に緑色の髪を巻き付けた女性がいる

ヒューズ ヤバいっ！！、マケドーの旦那を押さえよう（笑）！

マケドニア スカウト技能もないソーサラーが、この俺様の先手を取れるとでも？

ハル じゃあ、自分が先制取つてやろう（笑）

GM 味方同士で先制判定すんなよ（苦笑）

マケドニア やめろよおゝ、いいじゃんかよおゝ。可愛い女の子ならモンスターでもいいんだよおゝ

エルガン 人族としてのプライドは無いんですか？

マケドニア 別にいいじゃんかよぉ、ラミアとか綺麗だったぞー？
ハル 前回のキャメロンの事か。…コイツの記憶を消してもらったベ
きだったな

マケドニア 今回の女の子は全裸に髪の毛巻き巻きのエロカワイイ
だからな。GMも俺の事よく分かってる（笑）

お前のお下半身を中心にシナリオを作った覚えはない。

ボロドー とりあえず、魔物識別できるならやろう。対策はそれか
らだ

GM では樹木の妖精ドライアドだと分かった

ヒューズ … 9レベル…

ボロドー モンスター・レベルもそうだけど、特殊能力の「魅了」
がやっかい。このパーティーって女性いないだろ？。全員「魅了」
されて終わるぞ

エルガン 炎に弱いから自分が《エフェクトウェポン》で炎属性付
与するっていう手も……、無理ですね。9レベル相手にまず当たり
ません。自分で言ってる気付きました（苦笑）

ハル これはボス・クラスの域を越えてない？

ボロドー ……………（ 思案中）

プレイヤー達は「あーでもない、こーでもない」と相談する中、
出た結論は…、

ボロドー これはアレだな、こんなモンスターを出しておいてGM
が何の対抗策も考えていないとは思えない。一端、街に帰って対策
を練ろう

ハル まあ、一日二日放っておいても連中（魅了されてる人達）は
死なんだろう

エルガン ルールブックの説明も「死ぬまで側においておく」です
からね。ドライアド自身が手を下すわけではないようですし

ヒューズ マケドーの旦那も精神抵抗六ゾロ狙いのナンパはしない
だろう

マケドニア 何を言ってるんだ、ヒューズ！。恋はいつでも命懸け
だ（笑）！！

ボロドー 冷静になれ、軽戦士の方。相手は「養分^{エサ}」としか見てい
ないぞ？

マケドニア それでもいいんだー。俺はカレーのニンジンでも、ジヤガイモでも、タマネギでもいいんだー。何だったら福神漬けでもいい（笑）。俺を美味しくいただいてくれー！

ハル はあああゝ（溜息）。……ヒューズ！

ヒューズ 了解だ。マケドーの旦那に《スリープ》

マケドニア らっきょうでも…（バタツ）

ハル “軽い” 戦士もここまできるとイヤだね

ヒューズ まあ、ある意味、立派かな（苦笑）

エルガン 軽いだけじゃなく、薄い感じもしますよね。自分が言うのも何ですが（苦笑）

ボロドー まさに“軽薄”な軽戦士だな（笑）

腐敗病菌テロ？

冒険者達はジャーベル・ウォーキーの森を出て街へ戻る。

GM さて、街は大変な騒ぎになってる。何でもテロ行為があった

らしい

マケドニア 急展開したなあ

ボロドー 自爆テロとかそーいうヤツ？

GM 病原菌がばら撒かれたとか何とか。官憲が井戸を調べたりしてるみたい

ハル こっち（ドライアードに関する事）とそっち（病原菌テロ）に関する情報収集も兼ねて、花の弾丸亭に行こう

ボロドー 自分は個人行動を取らせてもらうよ

GM では冒険者の宿「花の弾丸亭」です。マスターがシェイカーを振りながら教えてくれる。身体が腐っていく「腐敗病」なる病気に感染した人があちこちで出たらしい。感染拡大を防ぐ為に、隔離や発生原因の究明を急いでいるそうだ

ハル で、原因は？

GM 現場が混乱してるので、それ以上の情報は入ってないらしい

マケドニア 自分らの依頼とどう繋がるんだ…。花婿と細菌テロ？

ヒューズ よく分からないが、病原菌テロについて聞いておこうか。その発生した人達に共通項はなかったのかな？

GM ないねえ。年齢、性別、職業、発生場所、どれを見ても一致するようなデータはない

ボロドー 外野から失礼。種族でも共通項ない？

GM（あ、するどい）人間が多いかな。でも人口密度自体が人間が多いからねえ

マケドニア 何か推理できた？

ボロドー 花婿と細菌テロじゃなくて、結婚詐欺の女と細菌テロで考えると分かり易いでしょ？

マケドニア ……全然。理解がかすりもしない

ボロドー マケドニアが浮かばないのは残念だなあ。これ多分、「性感染」だよ

GM（さすが）

ヒューズ 結婚詐欺師の女と細菌テロの首謀者が同一人物？

ハル 結婚詐欺の女って、あのドライアドじゃないの？

ボロドー 違うでしょ

ハル ヤツ（ドライアド）が街に来て男共を魅了したんじゃないの？

ボロドー それなら結婚式なんてしないで森にいくでしょ

ハル じゃあ、ヤツ（ドライアド）の共犯がいるんだ、きっと

ボロドー その可能性は否定できないけど、現段階で判断材料がない。ただ、プレイヤー的な発想だと違うと思う。ドライアド共犯説だと、倒さないといけない敵になるから。自分達のレベルでは絶対と言っているほど勝てない

ヒューズ そうだ、ドライアド対策も考えなくてはいけないんだ
った

G M 魔術師ギルドで「文献判定」して自分で調べるか、お金払って調べてもらうか

ヒューズ 勿論、自分で調べます。では私は魔術師ギルドへ

ハル 冒険者仲間に聞いてみよう。「ドライアド対策って何かない？」

G M 「50m先から狙撃すりゃいいんじゃないか（笑）」

ボロドー 自分もそれ考えたけど、一撃で仕留めないと近寄られて「魅了」されて終わる

G M 「反応：中立」なので、出方次第でしょう、とマスターが教えてくれる

ハル 男だから近寄れないんだよ。あつ、そうだ、女性の交渉人を連れて行こう！

ボロドー それはNPCに頼ると言わないか？

ハル カンペはこっちで用意して、それで交渉してもらおう

エルガン ドライアード対策はこれでOK？

ボロドー 街から浮浪者を一人二人連れてって、交換でもしようか？

エルガン それは人道的にどうかと…

マケドニア ヒューズの文献調査を待とうか

GM では魔術師ギルドの書物庫です。書物や巻物が積み上げられて随分、ホコリっぽい

ヒューズ 「ドライアードで検索」(コロコロ)ぐはあっ！、一ゾロ！！

GM 分からんねえ

ヒューズ 自身のセージ技能では成功したのに、書物には載ってないとは…、もしかして私は天才？

GM 載ってないんじゃない。探せなかったただけだ(苦笑)

ヒューズ しょうがない、先輩達に聞いてみよう。「樹木の妖精ドライアードについての対抗策はありませんか？」

GM じゃあ、相談役なる人に100ガメルほど払う。「魅了が恐いならパーティーの女性メンバーに交渉してもらえばいいだろう」

ヒューズ 「先輩、私が今、行動を共にしている冒険者一行は全員男性なんです」

GM 「それなら性転換だな」

ヒューズ んな無茶な（苦笑）

GM 融合神リルズの特殊神聖魔法に《コンヴァージョン》という性別を変更する呪文があるそうだ

ハル リルズ…、どつかで聞いたような、って依頼主の神殿じゃん！

ボロドー なるほど！、GMはこーいう抜け道を考えていたのか！

マケドニア これでドライアド対策はOKだな

ヒューズ いや、まだ問題はある。相手が妖精語しか喋れないから、通訳は必要

ハル 冒険者仲間のフェアリータイマーでも探そうか

マケドニア あとは相手の反応しだい

ボロドー さて、GM。私はこの街で探偵事務所を開いているから、刑事の知り合いがいた事にしていいかな？

GM いいよ。じゃあ、別の酒場で落ち合った事にしよう。「ボロドーじゃないか、何か面白い話でも聞けるのか？」

ボロドー 「いいや、とつつあん。ちょっと、聞きたい事があるん

だよ。誕生樹についてなんだけどね…」

GM 刑事は神妙な顔で「…この国で生活したけりゃ、首を突っ込まない方が利口だぞ」

ボロドー ……なに？、ヤバいの？。ここは慎重に「もちろんだとも。あんなヤバい話に関わろうって気はさらさらないさ。ただ、俺もそんなに詳しく知ってるわけじゃないんだ。アホ面下げて現場に踏み込んでしまっただけは困るんだよ、とつつあん。どの段階まで警戒したらいいかだけでも教えてくれないか？」

GM 「…俺も定年退職したいんでね…、これ以上は話せないな」

ハル 分からないじゃん

ボロドー いや、刑事の定年退職って事は相手は行政府…？

マケドニア 国家機密って事か？

ボロドー ん？、結婚詐欺女と細菌テロと国家機密？

マケドニア この国って盗賊ギルドはどうなってるんだ？

GM 普通にあるでしょ。特別な変更点はないよ

マケドニア 盗賊ギルドで情報聞いてもいいんじゃないか？

ボロドー 国家機密に関わる事なら金額は天上知らずじゃないかあ
く？

ハル ドライアード対策できたから向っていいんじゃない？

ヒューズ 森じゃなくて性転換しにリルズ神殿が先だぞ

ボロドー もうちょっと考えたいからそっちを先にして

GM ではリルズ神殿です。「マイケルさんは見つかりましたか？、ゴホゴホ」

ハル 花粉症はまだ治らないみたいだね

マケドニア 「カクカクシカジカ」という事で性転換をお願いします

ヒューズ 金を要求されるのかな？

GM 本来は「お布施」という形で要求されるだろうけど、今回はこっちが依頼してるわけだしね。無料でいいそうだ。あと、花の弾丸亭が1レベルのフェアリーテイマーの女の子を準備してくれたよ

ハル こっちの準備はOKだね。ボロドーは？

ボロドー ……しょうがない、賭けに出よう。「とつつあん、細菌テロの犯人の目途は付いてるのかな？」

GM 「何か知ってるのかっ!？」

ボロドー 「今、自分が関わってる仕事の絡みで関係しそうな人物がいる。その情報を提供するから、さっきのヤバい話を触りだけで

も教えて欲しい」

GM 犯人と断定できるなら、その手段も有効だけど、ボロドーが勝手に容疑者と見てる相手を交渉材料にしても話してはくれないね
ボロドー そこを何とか（苦笑）。「犯人の目星が付いてないなら、悪い取引ではないだろう？」

GM （そこまで粘るならまあいいか）「吟遊詩人に『すべての愛が許される街』の詩を聞いてみな。…これでこの話は終いだ」

ボロドー ……………（ 思案中）

ヒューズ ボロドーだけ活躍させるワケにはいかないな。私は私で調査しよう。リルズ神殿にも腐敗病に感染した患者が運び込まれているだろうから、セージ技能で判定してみよう。エルガン、君もレンジャーで病気識別できるだろうからダイスを振りたまえ

エルガン ……プリーストに聞いた方が早いような…

ヒューズ 司祭連中はどうせ《キュア・ポイズン》や《キュア・デイズ》で毒や病気と達成値の比べ合いをしているに過ぎん！。奴らが完治させてしまつては病気の特定が出来んだろうがっ！

マケドニア 今、さらつと非人道的な発言が出たな（苦笑）

ヒューズ 我々ルーンフォークはジェネレーターを用いて1体がやつとだが、人間は人間同士で約10ヶ月で製造可能だろう？。その繁殖能力たるや、まさにゴキブリ…

マケドニア やめーい（笑）

ハル 今、アンタは神殿にいるんだからね

ヒューズ 悪気はないんだが？

ハル まあいいや。ヒューズ、自分に《バイタリティ》かけて

ヒューズ 何をする気かな？

ハル 意識ある患者から話聞く。その時の感染対策で生命抵抗＋2
にしておきたい

マケドニア 大丈夫か？、ヤバくないか？

ヒューズ その前に私とエルガンの病気知識判定はどうなったんだ？

GM ではヒューズとエルガンはこの腐敗病なる病気は腐敗神ブラ
グザバス関連によるものと分かった

ヒューズ 特殊神聖魔法って事かな？

GM ぶっちゃけて言うとオリジナルです（笑）

ヒューズ 腐敗神ブラグザバスというと、疫病を生み出した神で、
蛮族の陣営にも恐れられてる存在だな、確か

エルガン 「混乱と絶望を好み、無差別の死を撒き散らす」今回の
テロ行為そのものですね

ハル 話聞ける患者はいるかな？

GM 症状の軽い人や進行の遅い人はいるだろうから話は聞けるよ。
看護してる神官や司祭はいい顔しないだろうけど（苦笑）

ハル 「誰に病気をうつされた？」

マケドニア ストレートに聞くなあ（苦笑）

ボロドー 相手は変装してるから情報は入らないと思うよ

GM ボロドーの予想通り、一人一人違う女性の名前・特徴を挙げていく。

ハル …うん、ダメか…

ボロドー こっちの話を進めていいかな？、GM。十数年前の出来事で「森、行方不明」「ドライアド、死亡者」で探し出せる情報ないかな？

GM（何か気付いたか？）住民の死亡記録や行方不明リストに一致するものがある。ただ、行方不明で処理されて、後に死亡が特定されてる。死因はドライアドの魅了による衰弱死

ボロドー それは数人の記録とみていいのかな？

GM そうだね。軽く見ても50名以上は記録されてる。もしかしたら、もっというかも知れない

ボロドー じゃあ、次。「退廃芸術・文学」とか「不道德、価値観」

で探し出せる情報は？

GM（ここまで読むか、さすが）じゃあ、さっき教えた「すべての愛が許される街」に類似する作品をいくつかピックアップできる

ボロドー……………（ 思案中）

ボロドーだけ真相に近付いたようだが…。

果たして、物語の結末や如何に…？。

天候操作の魔法塔

冒険者達は融合神リルズの特^{コンピュータ}殊神聖魔法で性転換してジャーベル・ウォーキーの森の中へ入る。

ヒューズ おお、これが女性専用パーツか（もみもみ）

ハル 気持ち悪い事やってないで、さっさと行くよっ！

マケドニア 元男性と分かって俺の下半身は反応してしまうんだろつか…、って、今の俺は女じゃねーかつ！。「うおーっ！、俺の

がなくなってるー！」（笑）

GM 《コンヴァージョン》の効果は1日なんで、翌日には元に戻るよ（苦笑）

ボロドー それまでにケリ付けてしまわないとな

エルガン すいません、このままだとラスボス戦に突入して、自分の点検簿にチェックする仕事でなくなりそうなので、先に魔法施設に行ってもいいですか？

ハル テキトーにやっちゃっていいんでしょ？

ヒューズ 個人的に興味あるな、自分も行きたい

マケドニア 時間ないんだろ？

ボロドー どちら辺にあるんですかね？

GM これから向うドライアードの所から、更に森に入った所

ボロドー なら、ドライアードを先にして言いと思いますよ。アレはラスボスじゃない（断言）

GM（ああ、そうかい）進んで行って、ドライアードのいる樹木へ到着

ハル（突然）「おい、ドライアード。お前には木製の腕輪をした女の知り合いがいるだろう？」

GM ドライアードは「キョトン」としてる。誰の事を言ってるのか分からないようだ

ハル じゃあ、GMがOKなら「真偽判定」だッ!!

ボロドー ここにきてシナリオ的に嘘はないでしょう?。意味ないと思いますよ?

GM ドライアードは嘘を付いてるようには見えないね

ハル …あれ?

マケドニア 本来の仕事しようぜ。一番最初の「マイケルを捜せ!」だ(笑)

ヒューズ 「樹木の妖精よ、そこにいる男を一人返してくれないか?」

エルガン マイケルさん一人でもいいんですか?。全員で7名ですよ?、たぶん、オタクのジミー君もいますよ?

ヒューズ 仕事として請け負ったわけではないだろう?。そもそも我々はジミーを知らん

ボロドー そうだね、自分も話した記憶はない

マケドニア ドライアードの反応は?

GM 「引き渡してもいいけど、条件がある」

ボロドー … いざとなつたらマケドニアを引き渡すか？。ある意味、
相思相愛だしな（ボソッ）

ハル 条件次第で引き渡してくれるんだね？、じゃあ二番目の依頼
「動物たちの巣を取り戻せ！」だ（笑）。流れてる川に押し込んで
匂い消してやろう「えいつ！、ドボーン」（笑）

マケドニア ああッ！、待てッ！！。細菌がどうか言つてたろ！
？。何か知らんが水はヤバくないか！？

ハル … あっ…

ボロドー いや、川が汚染されてるのは予想付くけど、彼らはすで
に感染してると思うよ

エルガン どういう事ですか？

ボロドー まあ、話進めりや分かるよ。で、ドライアードの出す条
件は？

GM 川の流れに異質なものを感じるらしい。それを突き止めてく
れという内容

ボロドー ラスボスはそこにいる！（断言）

マケドニア 川の上流に汚染源の結婚詐欺&細菌テロ女がいるんだ
な？

ボロドー 99.9%の確率でいる。ただ、すでに死んでアンデッ
ドかも分からん

エルガン 怨念だけで動いてる霊体とかですか？

ボロドー いや、腐敗って言うくらいだからゾンビ系じゃないの？。
何にしても、そこに行く前に先に魔法研究施設に行こう

ハル ラスボスいるって分かったならさっさと行こうよ

ボロドー この魔法研究施設だけがシナリオ的に繋がらない。中身を確認してからでないと。ラスボス終わって取り返しの付かない事になったら一大事。って言うか、個人的にはラスボスはそこにいると思ってるんだ（苦笑）

GM（残念でした。深読みしすぎ）

冒険者達は川の上流に行く前に魔術研究施設へ。向った先には植物の蔦が絡まった5階建ての塔型の遺跡が存在していた。

ボロドー 中に入る前に危険感知判定をしよう（コロコロ） 13

GM 危険な感じはしない

ボロドー 聞き耳もするか…、いいや、入ろう

GM 1～4階部分が吹き抜けで、らせん状の階段になってて5階部分に研究施設がある

ハル 見上げて、何か見える？

GM 5階部分の床下、君らのいる位置からなら天井になるのかな。それが見える。何かが飛んでたりはしない。らせん階段は二人が並んでも平気なくらいの幅

ハル 隊列組んで進もう

エルガン 素朴な疑問なんですが、魔法使いがらせん階段使っんですかね？

ヒューズ まさかつ！。魔法で浮かぶなり飛ぶなり手段はある。このらせん階段は荷運び奴隷用の通路に違いない

ボロドー とりあえず警戒しながら進んで、5階手前でもう一回、危険感知しよう

GM では5階手前で危険な感じはしない

ボロドー ……いくら何でもラスボスがいたら分かるよな……。よしっ！、入ろう！！

GM（警戒心強いわりには決断は早いな）中には魔道機文明らしき魔法装置が並んでいる。人影はない

ヒューズ 何の魔法装置か調べよう

エルガン ちょっと待って下さいよ、マジテック協会の所有物ですから（苦笑）

ヒューズ 別に分解したりはしない。…で、何なの？

GM 天候操作の魔法装置らしい

ヒューズ かなり強力な魔法装置だな。使い方によっては脅威的な兵器になる

GM この魔法装置はジャーベル・ウォーキーの森の中にしか機能しないらしい

ハル 雨降らせばいいんだ（笑）

GM でも、ジャーベル・ウォーキーの森自体、魔力を帯びてるから枯れる事はない。だから、天候操作の魔法装置としては使用頻度は極端に低いね

ヒューズ これなら魔術師ギルドが引き渡しを要求するのも分かる気がするぞ

エルガン 今すぐ使えるんですか？

GM 引き出し式のカートリッジがあつて、そこに魔晶石を10個セットして起動させる。「雨・雪・台風」なんかを選んで発動。もちろん「晴天」もある

ヒューズ 魔晶石なんて1個しか持ち歩いてないぞ

エルガン 自分も1個だけですな

マケドニア 他は魔法使いじゃないから魔晶石なんて持ってないね
ハル まあ、この装置使わないでしょ？

ボロドー ここにボスはいない…。シナリオ的にどう繋がるんだ…？

GM（ふふ〜ん）

腐敗神ブラグザバスの女司祭

塔型の魔法装置を出た冒険者達は川を上流へと進んで行った。進むにつれ、川の流れに魚の腐ったような腐敗臭が混じり、進めば進むほどその濃度は増した。

マケドニアとボロドーが斥候として進み出る。

森の茂みを掻き分けた二人には、滝の流れ落ちる泉の中央に下半身を水に浸した女性が立っているのが見えた。その下半身付近からどす黒い液体が水面を流れていく。

この女性こそ結婚詐欺を働き、街を病原菌テロに陥れた張本人に違いなかった。

ボロドーはすぐさまマケドニアを下がらせ、狙撃の構えを取る。距離は50m。相手に気付かれた様子はない。しっかりと30秒間狙いを定める。

すぐ目の前にいるボロドーの気配が完全に消える様をマケドニアは驚愕の思いで眺めていた。

（…これが熟練のスカウトの技…）

張り詰めていた糸が切れるような感触を得た瞬間、ボロドーの狙

撃矢が放たれる。

命中したかと思ったその時、水面から激しい水柱が立ち上がる。

「殺ったかつ!？」

「いや、手前で何かに塞がれたつ!!」

飛んで来た矢の方向から二人の冒険者を確認した腐敗神の女司祭はすぐさま呪いの言葉を投げ掛ける。

「……腐れ……」

二人の耳元で女性の低い声がしたかと思うと、それぞれの腕に痛みが走る。距離と目標を拡大した特殊神聖魔法^{ワンス}だった。そして、水面から内臓を絡ませたような3本の触手が出てきて彼女を護るように配置に付く。彼女の目・鼻・耳・口からはどす黒い血が流れ落ち、水面をさらに激しく汚染していく。

マケドニアは不意打ちと狙撃の双方が失敗したと判断し、指笛を鳴らして仲間に合図を送る。

しかし、指笛よりも水柱の音で動き出したのが軽戦士ハル。

「最初からこうすりゃよかったんだ」愚痴りながらも前方に鋭い眼光を向ける。ハルが動き出したのを見て、腰を浮かせた魔術師ヒューズと魔道機師エルガンも指笛を聞いて前線へ走り出す。

三人が駆けつけると泉の水面はほぼ汚染液で染まり、辺りには腐敗臭が満ちていた。これでは泉の中央にいる女司祭に近づく事が出ない。ヒューズの魔法もエルガンの魔弾も、大人の胴体ほどの太さのある触手が遮蔽となつて本体を傷つける事ができない。

とつさにハルは近くの樹木に登り、鳶にぶら下つた反動を利用して「ぶら下り突撃」を試みる。森の野生児がするようなこの動作は、騎獣による突撃とは違つが汚染された水中を歩くわけにはいかないので試してみる価値はあつた。

槍の切先まであと数センチというところで横薙ぎに触手に撥ね飛ばされる。鳶から手を離し、素早い身のこなしで空中で身体を反転させて足元から着地する。

（ 受身は取れてる、落下ダメージなし ） 足首や膝に痛み

が無い事を確認したハルは後方へ下がって距離を取る。

「冒険者さんたちッ！、森を護って！！」

周りの木々から小動物に変化した幻獣ブー力数体が突然現われて泉を取り囲み、そのまま汚染を免れた水面の淵部分に両腕を突っ込んで妖精魔法ヒュリフイケーションを連続発動させる。汚染された泉は瞬く間に浄化され真水へと戻る。

これで腐敗神の女司祭に接近戦を仕掛ける事は可能になったが、軽戦士の二人は躊躇していた。水面に腰まで浸かると動きに負荷が掛かる為に攻撃・回避の両方がやり難くなる。

躊躇う二人を割って泉に走り出したのは以外にも狙撃探偵ボロドーだった。相手の射程圏内には絶対に入らないと公言していた彼だったが、泉の周りを走りながら時折立ち止まっては地面に何かを埋めている。

「……伸びろ、我が思うがままに……」

一周して来た所で楽団の指揮者のように指先を奏できるように動かすと、埋めた場所数箇所から頑丈な蔓が泉の中央の女司祭に向って伸びていく。魔法の品「ジャックの豆」による包囲行動だった。この森は大気中のマナの成分が濃いので通常より早くジャックの豆は成長していく。

「足場は造った！、行けっ！！」

ボロドーの掛け声と共に泉の淵から女司祭まで伸びた蔓の上を、危な気無く軽い身のこなしで二人の軽戦士は渡って行く。

わずか幅10cmの蔦の上で触手の攻撃を軽業師のような要領で回避する。フエンサーだけでなく、スカウト技能も所持する二人だからこそ可能なアクロバット戦闘だった。

ただ、腐敗神の女司祭は軽戦士二人よりも泉を浄化する幻獣ブー力を執拗に狙っていた。

「……私の復讐の邪魔をするなッ！！」

次々とブー力が攻撃され、泉の浄化が間に合わなくなる。そのブー力に迫る触手に割って入ったのは魔動機師エルガン。迫り来る触

手に対して両手に持っている銃が火を噴く。

「うおおおおーっ!」

雄叫びとバースト・フレアが発せられる度に内臓を絡めたような触手が次々と飛び散り、削り取られていく。

「カチツ」という弾切れの音がすると、エルガンはすかさず二丁拳銃をホルスターへしまい、続いて中型のマギスフィアを起動させ、その手に雷を放つ銀色の手榴弾を造り出す。そのまま放り投げると激しい爆音が辺りにこだまし、泉の水面を激しく波立たせる。魔動マジョウ機術クボムの爆発により、触手は完全に破壊されていた。

その後も冒険者優勢のまま戦闘は続き、腐敗神の女司祭の息の根を止めるに至った。

ただ、彼女は自らの命尽きるその瞬間ですら、妖艶な笑みを浮かべていた。

ハル…で、この敵って何だったの？

GM スキュラのデータをいじって作った人間の女司祭。魑魅魍魎と化してるのは腐敗神ブラグザバスの恩恵を受けすぎたとても解釈しておいて

ボロドー ゲーム違うけどクトゥルフみたいだね

GM 確かにイメージはそれに近いね（苦笑）。ちなみにこのキャンペーンでのラスボス・レベルは「パーティーの最大レベル+2レベル」に設定するからそのつもりで。今回はボロドーの5レベルが最大レベルだからそれに+2して7レベルのラスボスになってる

ハル じゃあ、ボロドーがいなかったら6レベルだったんだね

エルガン 自分だけ3レベルなんで、4レベル差のラスボスはキツ

かったです（苦笑）

マケドニア さて、ラスボスは倒したからこれで終わりかな？

GM いいや、周りの植物の花々が開き始めているのが分かる。腐敗病の病原菌を持った花粉は花の国フェンデイルを覆い尽くすに違いない

ヒューズ 復讐を止めてはいなかったのか！？

ハル 植物自体が腐ったりはしないワケ？

GM ここは魔力の森ジャーベル・ウォーキーだからね。通常の植物とは違うんだろう

エルガン でも、腐敗病付きの花粉は人体に悪影響を起こしますよね

ボロドー なるほどっ！、例の魔法装置はここで使うのか！

ハル 雨降らせばいいんだね

ヒューズ でも魔晶石がないぞ

エルガン 10個必要でしたよね、8個足りません（泣）

GM それにはプーカ達が応えてくれる。「綺麗な石をあげるよー」ポシエットから取り出したのは青白く光を放つ魔晶石だ

ボロドー なるほどっ！、プーカの報酬はこうやって繋がるのか

ハル 今回は伏線張りまくりだね（苦笑）

この後、プーカから貰った魔晶石を使って天候操作の魔法装置を起動させて、豪雨により飛来する花粉から無事にフェンデル王国の首都デイルクールを護ったのであった。

後日談

マケドニア 国を救った英雄なら相当な報酬が期待できるんじゃないか？（ウキウキ）

ヒューズ そうだね、マケドーの旦那。これは高レベル相当のもてなしを受けるに違いない（ウキウキ）

GM 当初はそういう風に話が進んでいたけど、魔術師ギルドからの介入が入った。「例の花粉の人体への実証がなされていない」

ハル ……どーいう事？

ボロドー あの花粉が毒付きだったかは分からないって言ってんだろ？

ハル はあ？、それ確かめてたら間に合わないじゃん！

GM これは政治的な遣り取りの影響でこうなってる。つまり「国を救ったのはマジテック協会の保有する魔法装置によるもの」とす

ると魔術師ギルドとしては体裁が悪い。それで難癖を付けた。最初で説明したようにフェンデル王国は魔法文明時代の色合いが強い国なので、魔術師ギルドに対して譲歩した形になった

ボロドー　つまり、自分ら冒険者の活躍が政治的背景により低く扱われる事になった、と

GM　そうだね。「救国の英雄」から「細菌テロの首謀者を退治した冒険者達」に格下げ。ちなみに君らとフェンデル政府との間にマジテック協会、リルズ神殿、冒険者の宿“花の弾丸亭”も介入してる。

「あの魔法装置も定期点検してたからこそ、使用可能だったのですよ。つまりは我々の働きも一躍あるという事で…」

「樹木の妖精ドライアードとの交渉に成功したのも、我が神の奇跡「コンウァー
ーション」があればこそ、つまりリルズ神殿も国を救う事に一役買っているという事で…」

「あの冒険者達の依頼を仲介した我々弾丸亭があればこそ、冒険者達は活動できるのであって、今回の件に関して一番の結びつきは我々冒険者の宿という事になるわけでして…」

マケドニア　ええーい、金の亡者どもめっ！！（笑）

ヒューズ　こうやって色々ピンハネされていくんだな。…社会の構図だ（しみじみ）

GM　まあ何だかんだあって結局、一人当たり12,000Gの報酬という形に収まった。これは冒険者の宿とかの総額で君らが貰った金額だからね

マケドニア　1万越えてる金額は嬉しいけど、もっと貰えるはずだ

ったから微妙（苦笑）

ボロドー いや、これで妥当でしょう。実際にはGMの作ったシナリオ通りに話が進んだだけ。それで救国の英雄だから何十万も貰う方がおかしい。自分達プレイヤーが何か奇抜な発想で物語を展開させたのならそれも有りだろうけど、実際そうじゃない

ヒューズ それもそうだな。もうちょっと上手く立ち回らないとイカン

GM まあ、君らの事を高レベル（7レベル以上）とみなしてパトリオン契約を結ぼうとする貴族や官僚からの食事会の誘いなんかもあるかもね（笑）

花の国フェンデイルの闇歴史

男は廃墟が建ち並ぶ錆びれた家屋の前に来ていた。表社会からドロップアウトした様々な人が息を潜めて暮らしている。此处には知り合いの操霊術師の老婆が住んでいた。その老婆へある頼み事がこの男の目的だった。

開きかけの扉の奥から酒と強い煙草の臭いが鼻を衝く。他国では御禁制である葉巻が好物のこの老婆への手土産を忘れた事はない。

「…おや、ボロドーじゃないかえ。葉っぱは持つてるかい…？」
老婆はしわがれた手を差し伸べる。ボロドーと呼ばれた男は手土産を老婆の手前に雑に放り投げ、用件を切り出す。

「今日は降霊をしてもらいたい」言つて今度は懷から手作りらしき木製の腕輪を放り投げる。

ジャーベル・ウォーキーの森の中で泉での戦闘を終え、仲間達は

急ぎ魔法装置へ向ったが、彼は腐敗神の女司祭の死体からこの腕輪を抜き取っておいた。

事の真相を確かめる為に。

「…あたしや、縛った方がいいのかい…？」

「当然だ」

老婆は壁にある拷問道具のようなものから奴隷用の腕輪と足輪を見ながら話し、男はそれに簡潔に答える。これから行おうとしているのは操霊魔法ボゼッションによる死者の魂を呼び寄せる行為だった。

両手両足を枷に嵌めた老婆は不自由な動きのまま魔法を発動させる。自身に対して使う魔法なので動きに不備があっても大きな問題はない。

木製の腕輪を通して呼び寄せたい魂を手繰り寄せる。老婆の閉じていた目が見開かれると、老婆の中には腐敗神の女司祭の魂が宿っていた。

「…私の復讐の邪魔をしたなっ！！」

老婆とは思えない若々しい、しかし、どこか暗い響きの感のある声でボロドーを罵倒する。

「名を聞こう」

ボロドーは罵倒を涼風の如く受け流して冷たい視線を向け尋ねる。尚も収まらない様子なので、持っていた木製の腕輪を取り上げて破壊する素振りをみせる。

「止めるっ！、それに触るなっ！」

女司祭は発狂するかと思われるほど烈火の怒りの声を上げ、身悶える。

「名を聞こう」

ボロドーは感情の籠らない、氷のような冷たい表情で、両手両足が縛られた老婆を見下して再度問う。

「…レティシア…、レティシア・カノーフ」

ボロドーは持っていた12年前の死亡記録からカノーフ姓を探し出し、老婆の中のレティシアに尋ねる。

「アラン・カノーフ、45歳。この歳だと父親か？」
レティシアは答えない。自分を見下すこの男はすべてを知っているに違いなかった。

12年前。花の国フェンデルにて一つの問題が起こっていた。魔法文明時代の流れ継承して文化や芸術が栄えているが、その中には退廃芸術と呼ばれるものも含まれていた。偉大なる魔法文明の一端であるので、簡単に切り捨てたり禁止する事はできなかった。

その代表作は「すべての愛が許される街」。父が娘と、母が息子と、兄が妹と結ばれる近親相姦を描いた作品だった。時のフェンデル政府は、当時蔓延していた近親婚者を炙り出す為にふれを出した。

「ジャーベル・ウォーキーの森へ行き、指定する樹木の枝を持ち帰った者には政府がその婚姻を承認するものとする」

通常の婚姻なら政府の承認など必要ない。神殿へ行き、神へ永遠の愛を誓えばいいのだから。しかし、近親婚者はそうはいかなかった。政府はそこを突いたわけだ。

しかし、森に入った者達が帰って来る事はなかった。政府は事前にドライアードの宿る樹木を見つけ、尚且つ、木製の装飾品を男性から女性へ贈るよう指示した。

森に入った男達はドライアードの魅了により全員が衰弱死した。

時が移り、フェンデル政府内の政権交代が起こり、この「誕生樹騒動」は人々の記憶から薄れ、フェンデルの闇歴史の中へと消えていった。

生き残り、復讐を誓い、腐敗神の司祭になった少女の人生を狂わせながら…。

ボロドーは数回質問を繰り返して真相を確かめると、後は興味を無くしたように錆びれた家屋を跡にした。開放たれた扉の奥からは罵倒する声が響いている。その声が最期には「…父さん、父さん

……」と涙を流す嗚咽に変わった事に気付かないフリをしながら彼は歩き続けた。

SW2・0リプレイ?『腐敗のウェディング・ベル』（後書き）

セッション終えて

キャンペーン二話目。一話目に続き、ある意味「愛」をテーマにした内容…、といえは聞こえはいいが、やはりストーリー色が強くなりすぎて参加者にはフラストレーションが溜まったのでは？。

ボロドーの指摘通り「GMの作ったシナリオ通りに話が進んだだけ」「これは耳が痛い言葉。TRPGの「GMとPCが一緒になつてストーリーを作っていく」には程遠い。選択肢を用意するだけじゃなくて、PCからの積極的な提案を即興でシナリオに盛り込む程度の事はできないといけない。まあ、こういう「決められたストーリーでのシナリオ」では難しいだろうけど。

あと、フラストレーションで言えば、一話目に続いて戦闘に関して少々、地味な感じは否めない。リプレイでは小説風にアレンジして様々な活躍を見せているけど、ラスボスがあっさり終わったり、キャラクターが瀕死に追い込まれなかったり等、まるでゆとり教育のような緩い戦闘が続いてるので次回は珍しく戦闘系シナリオを組んで派手な戦闘が出来るようにしたい。その為に多めに報酬（一人当たり12,000G）を渡したので、それで戦力強化を図るだろう（ネタ的アイテムを買う奴もいるだろうが、そこは自己責任）。

さて、次のテーマはファンタジーの王道（？）「竜にさらわれたお姫様を救い出す」的なイメージで考えてる。そこにあのキャラクターの設定を絡めて、実はこういう展開が待っていて、事の真相は実は…。

SW2・0キャンペーン、三話目をお楽しみに！。

終

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0953m/>

グループ遊雅 リプレイ

2010年10月10日21時24分発行